

ME20F-SH

多目的カメラ

Firmware ver. 1.0.5.1.00

はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

接続

メニュー

その他

本機の特長

ME20F-SHは、超高感度のカラー撮影が可能な多目的カメラです。

超高感度撮影

フルHD対応35mmフルサイズCMOSセンサー搭載

1辺19μm*¹の大きな画素を持ったフルHD対応35mmフルサイズCMOSセンサーにより、超高感度撮影が可能です。

*¹ 1μm(マイクロメートル)は100万分の1メートルです。

低照度カラー動画撮影

最低被写体照度0.0005ルクス以下*²(ISO感度換算：400万相当)を実現。赤外線投光なしでノイズの少ないカラー動画撮影が可能です。

*² カラー、蓄積なし、F1.2、シャッタースピード1/30秒時、50IRE、最大ゲイン75 dB時

高画質で多彩な表現力

高画質映像エンジン「DIGIC DV 4」搭載

フルHD対応35mmフルサイズCMOSセンサーと映像エンジン「DIGIC DV 4」の組み合わせにより、低照度でもノイズの少ない高画質撮影が可能です。

EFレンズマウント採用

豊富なラインアップを誇るキヤノンのEFレンズやEF-Sレンズ、EFシネマレンズが使用可能*³。多彩な映像表現を実現できます。

*³ 動作確認済みのレンズについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

カスタムピクチャー (□ 70)

ガンマなどの画質調整により、用途に応じた自由な画づくりが可能です。映像制作機器CINEMA EOS SYSTEMにも採用されているCanon LogやWide DRでの撮影も可能です。

幅広い用途に応える汎用性

充実のオート機能

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルターが連動した自動露出(AE)制御をはじめ、アイリスを一時的に自動で調整するプッシュオートアイリス(□44)や、常に適切なホワイトバランスになるよう自動的に調整するオートホワイトバランス(□52)を搭載。ボタンを押すとフォーカスを自動的に調整するワンショットAF(□57)を使用できます。

リモートコントローラー RC-V100(別売)に対応 (□ 64)

別売のリモートコントローラー RC-V100を接続して、アイリス、ゲインなどを調整できます。また、階調やシャープネスなど画質設定も遠隔で調整できます。

使いやすさを向上させる機能

アサインボタン (□ 68)

13種類の機能から使用頻度の高いものを本体の3つのアサインボタン(リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続したときは4つのアサインボタン)に割り当て可能です。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	6
安全上のご注意	7

はじめに

商品を確認する／ 使う前に知っておいてください	10
各部の名称	11

撮影準備

システム構成例	16
電源を準備する	17
接続する	17
電源を入れる／切る	20
外部モニターと接続する	21
3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、 または3G/HD-SDI 2端子を使う	21
HDMI OUT端子を使う	21
日時を設定する	22
日付と時刻を設定する	22
タイムゾーンや日時、日時スタイルを 変更する	23
メニューで設定を変える	24
メニュー操作の基本	24
カメラを準備する	27
ブラックバランスを調整する	27
レンズの取り付け／取り外し	29
外部機器を接続する	32
本体を設置する	33

撮 影

撮影する	36
本機の接続例	36
撮影する	36
撮影画面表示	38
映像の信号形式を選ぶ	40
カメラモードを選ぶ	41
カメラダイレクト設定を使う	42
アイリスを調整する	43
マニュアルで調整する	43
一時的に自動で調整する （ブッシュオートアイリス）	44
露出を調整する	46
マニュアルで調整する（AEシフト）	46
測光方式を設定する	46
ゲインを調整する	47
設定できるゲイン	47
調整する	47
ゲインの上限値を設定する （AGCリミット）	48
設定できるゲインの上限値	48
設定する	48
シャッタースピードを調整する	49
設定できるシャッタースピード	49
調整する	49
NDフィルターを使用する	51
設定できるNDフィルター	51
設定する	51
ホワイトバランスを調整する	52
設定できるホワイトバランス	52
オートホワイトバランス（AWB）で 調整する	52

ホワイトバランスセットで調整する	53
プリセット設定／	
色温度設定で調整する	55
フォーカスを調整する	56
マニュアルでフォーカスを調整する	56
ワンショットAFでフォーカスを 調整する	57
フォーカスリミットを設定する	59
アスペクトマーカを表示する	61
設定できるアスペクトマーカ	61
設定する	61
赤外撮影をする	63
リモートコントローラー RC-V100(別売) を使う	64

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する	68
機能を変更する	69
アサインボタンに割り当てた機能を 使う	69
カスタムピクチャーを使用する	70
カスタムピクチャーファイルを選ぶ	70
画質を調整してカスタムピクチャー ファイルとして登録する	72
カスタムピクチャーの設定項目	73
表示をカスタマイズする	76
カスタムディスプレイで設定できる 項目	76

接続

外部レコーダーと接続する	78
外部レコーダーへ記録の開始と停止を 要求する	78
外部機器と同期させる	79
音声を入力・出力する	80
音声を入力する	80
音声を出力する	80

メニュー

メニュー一覧	82
メニューの階層	82
メニューの設定項目	83

その他

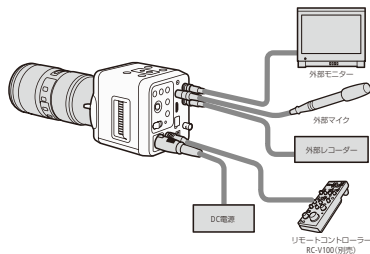
トラブルシューティング	92
警告表示とエラーメッセージ	93
取り扱い上のご注意	94
充電式内蔵電池	95
その他のご注意	95
カメラ本体を清掃する （日常のお手入れ）	95
アクセサリ紹介	96
主な仕様	97
対応レンズと機能	99
索引	101
保証書と修理対応	104

本書の読みかた

撮影する

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。撮影状況に応じて、レンズやDC電源、外部機器の構成を準備してください(□17、29、32)。音声の出力については、「音声を入力/出力する」(□80)をご覧ください。

■ 本機の接続例



■ 撮影する

- 1 POWER(電源)スイッチをONにする (□20)
- 2 システム周波数やアリスなど撮影に必要な設定や調整をする (□40～64)
- 3 撮影する (□78)

36

撮影する

ご注意

- 冷却ファンの接続ポートをテープなどで塞がないでください。

MEMO

カラーバー/テストトーンを出力する

- 本機のö録ボタン、またはリモートコントローラー RC-V100(別売)のöARSボタンを押すと、カラーバーを出力できます。また、Camera Setupメニュー>「Color Bars」>「Activate」を「On」にしても、カラーバーを出力できます (□295)。
- Camera Setupメニュー>「Color Bars」>「Type」でカラーバーのタイプを変更できます (□295)。
- AudioVideo Setupメニュー>「High Tone」を「On」にする、カラーバーと同時に1 kHzのテストトーンを出力できます (□286)。

冷却ファンについて

- Other Functionsメニュー>「Fan Speed」で、冷却ファンの回転速度を変更できます (□288)。
- 冷却ファンの回転停止は、該当カメラの電源が切られます。
- 撮影開始に冷却ファン警告が表示されたときは、冷却ファンが故障した可能性があります (□293)。お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先(販売店)にご相談ください。

- Other Functionsメニュー>「Scan Reverse」で、映像を上下左右に反転して出力できます (□288)。

撮影

37

ご注意 必ず守っていただきたいこと。

MEMO 知っておいていただきたいこと。

▶▶ 次のページに続くことを示す。

本文中の表記

- ☞ 参照ページを示す
- 参考 ▶▶ 参考になるページを示す
- カメラモード 撮影モードのこと

- 本書で使用しているイラストのレンズは EF70-200mm F2.8L IS II USM*とCN7×17 KAS S/E1です。

*説明のために三脚座を取り外しています。

- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

電源コネクターを本機から外す

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先(裏表紙)にお問い合わせください。

警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。▶ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには本機やケーブルに触れない。▶ 感電

ぬれた手で、電源コネクターを抜き差ししない。▶ 感電

ぬらさない。▶ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

分解や改造をしない。▶ 発熱 火災 感電 けが

強い衝撃や振動を与えない。▶ 火災 やけど けが

ケーブルについて次のことを守る。▶ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重い物を載せない



禁止

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧以外では使用しない。▶ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。▶ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入るおそれあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。▶ 火災 やけど けが
発熱や破損のおそれあり。

運転中に使用しない。▶ 交通事故



禁止

不安定な場所に置かない。▶ **けが**

落下、転倒のおそれあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。▶ **感電** **けが**

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。▶ **火災**

内部に熱がこもるおそれあり。



強制

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。▶ **事故**

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

電源コネクターのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。▶ **火災**

電源コネクターは根元まで確実に差し込む。▶ **火災** **感電**

電源コネクターを抜くときは、電源コネクターを持って抜く。▶ **火災** **感電**

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。▶ **けが** **交通事故**

⚠注意 傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。



禁止

使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用しない。▶ **事故**

電波の影響で機器類が誤作動し、事故の原因となることがある。

コード類は、つまずかないように配置する。▶ **けが**

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

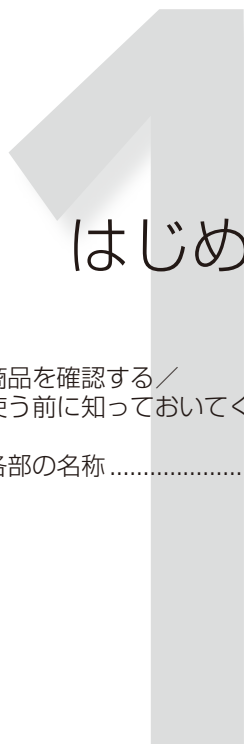


強制

飛行機内で使用するときは、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれあり。

使用しないときは、必ず電源コネクターを抜く。▶ **火災**



はじめに

商品を確認する／ 使う前に知っておいてください.....	10
各部の名称	11

商品を確認する

本機には次のものが付属しています。ご使用になる前に確認してください。



カメラ本体



ボディキャップ
(本体装着)



電源用コネクター

使う前に知っておいてください

必ず映像と音声を確認してください

ご使用前に外部モニターや外部マイクと接続し、正常に映像と音声が出力されていることを確認してください。万一、本機が正常に動作していないときは、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）へご連絡ください。

記録内容の補償はできません

本機や外部レコーダーなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

映像・音声の利用によるプライバシー・肖像権の注意

カメラの使用（映像・音声）につきましては、お客様の責任でプライバシーの保護や肖像権の侵害防止などに十分なご配慮のうえ、行ってください。例えば、特定の建築物や屋内などが映し出される場合には、事前にカメラ設置の了承を得るなど対応してください。弊社では一切の責任を負いません。

法律上の注意事項

カメラによる監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本機をご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。

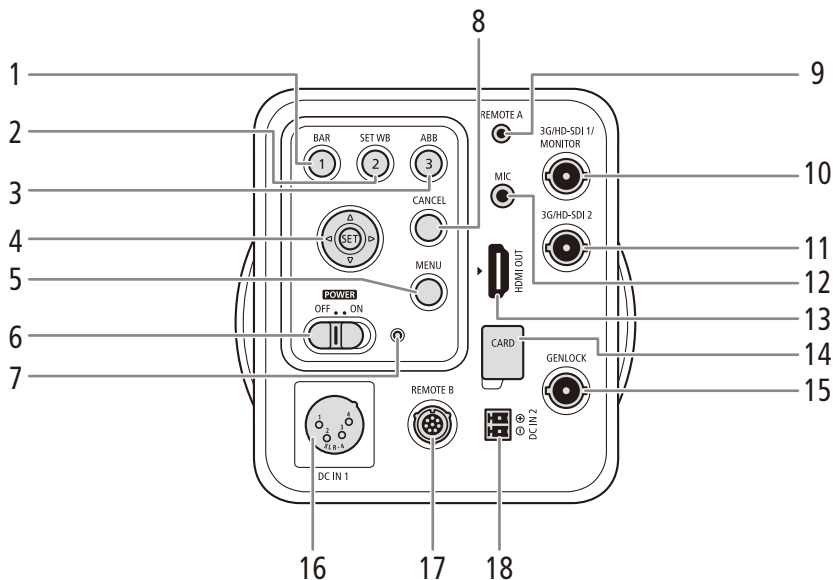
著作権について

お客様が撮影した映像や画像、録音した音声などは、著作権法上、権利者に無断で使用・公開することはできませんのでご注意ください。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

後面



1 BAR(カラーバー) /アサイン1ボタン
▶▶ 85

2 SET WB(ホワイトバランスセット) /
アサイン2ボタン ▶▶ 53

3 ABB(オートブラックバランス) /
アサイン3ボタン ▶▶ 27

4 ジョイスティック ▶▶ 24

5 MENU(メニュー)ボタン ▶▶ 24

6 POWER(電源)スイッチ ▶▶ 20

7 POWER(電源)ランプ ▶▶ 20

8 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶▶ 24

9 REMOTE(リモート) A端子*1 ▶▶ 64

10 3G/HD-SDI 1/MONITOR(モニター)端子
▶▶ 21, 78

11 3G/HD-SDI 2端子 ▶▶ 21, 78

12 MIC(マイク)端子 ▶▶ 80

13 HDMI OUT端子 ▶▶ 21, 78

14 メモリーカードスロット (microSDメモリー
カード用) *2

15 GENLOCK(ゲンロック)端子 ▶▶ 79

16 DC IN 1端子 ▶▶ 17

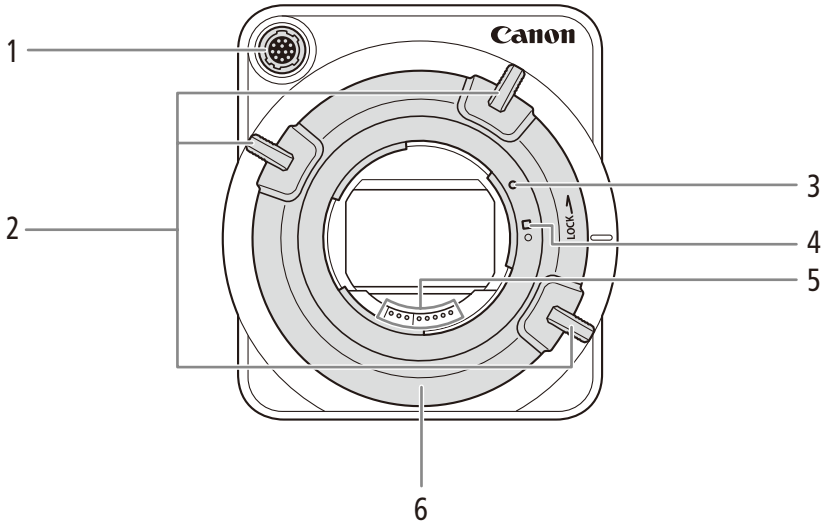
17 REMOTE(リモート) B端子*1 ▶▶ 64

18 DC IN 2端子 ▶▶ 18

*1 リモートコントローラー RC-V100 (別売) を接続
する。

*2 ファームウェア更新用。

正面



1 LENS(レンズ)端子 ▶▶ 30

2 マウントレバー ▶▶ 29

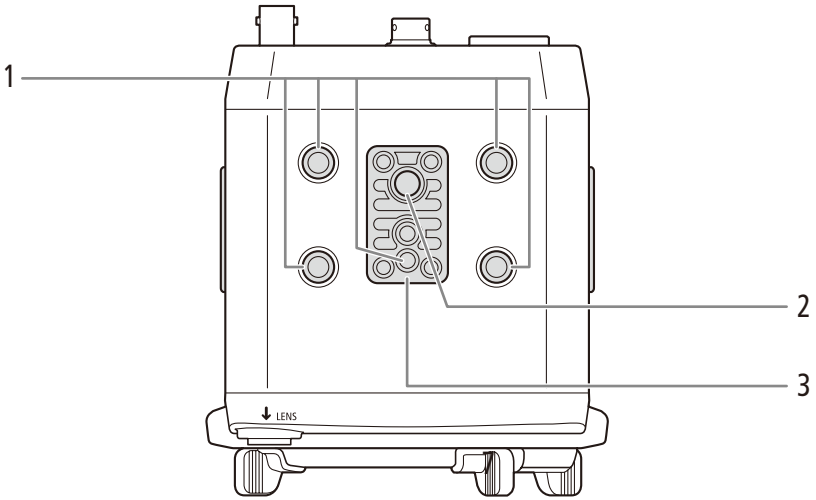
3 EFレンズ取り付け指標 ▶▶ 29

4 EF-Sレンズ取り付け指標 ▶▶ 29

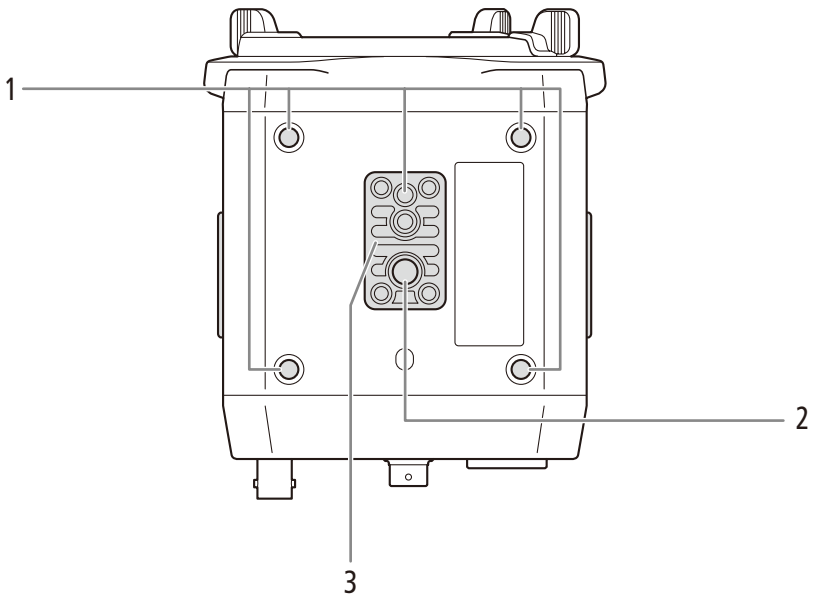
5 EFレンズ接点

6 EFレンズマウント ▶▶ 29

上面



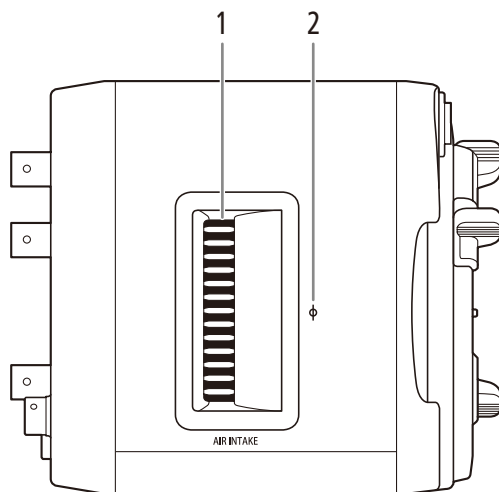
底面



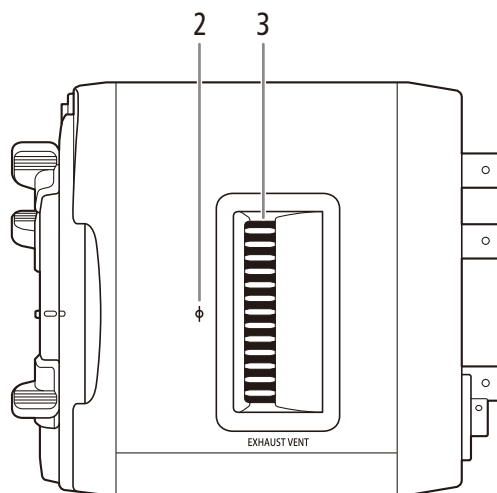
- 1 1/4インチネジ穴 ▶▶ 33
- 2 3/8インチネジ穴 ▶▶ 33

- 3 3/8インチネジ用三脚ベースTB-1 ▶▶ 33

右面



左面



1 AIR INTAKE(吸気口) ▶▶ 37

3 EXHAUST VENT(排気口) ▶▶ 37

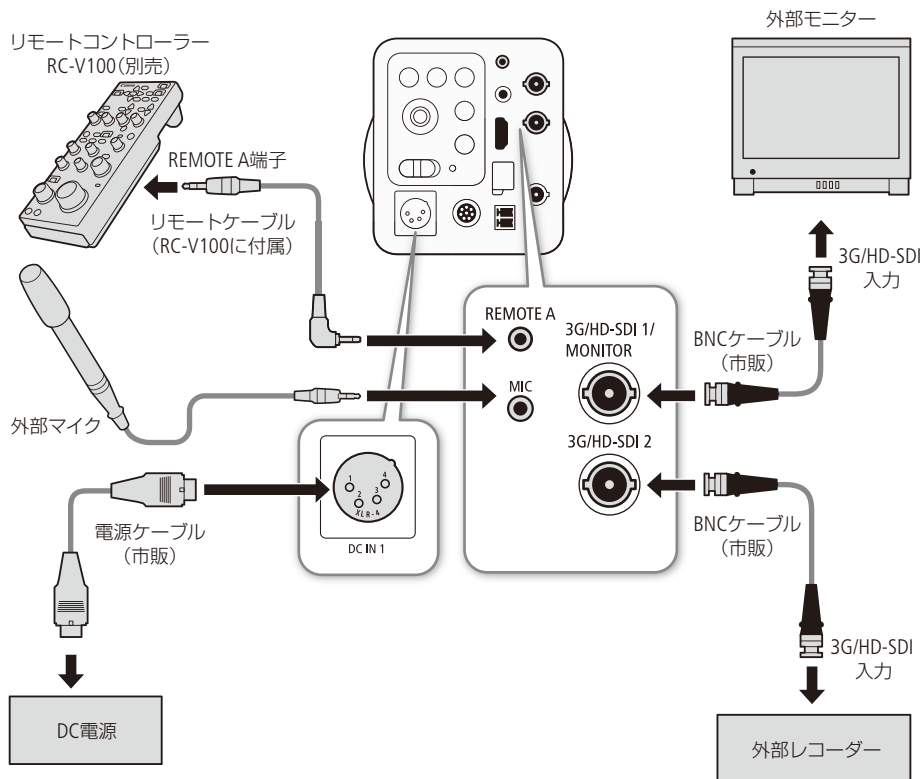
2 φ撮像面マーク



撮影準備

システム構成例	16
電源を準備する	17
外部モニターと接続する	21
日時を設定する	22
メニューで設定を変える	24
カメラを準備する	27

システム構成例



MEMO

- リモートコントローラー RC-V100(別売)を8ピン リモートケーブル (別売)で接続する場合は、RC-V100のシリアル番号を確認してください。シリアル番号が01 xxxxのときは、RC-V100のファームウェアの更新が必要です。ファームウェアの更新をご希望のお客様は、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ窓口にご相談ください。
- RC-V100をリモートケーブル、または8ピン リモートケーブルで接続したとき、RC-V100本体背面の端子切り換えスイッチがケーブルを接続した端子側に切り換わっているか確認してください。

電源を準備する

電源は、DC IN 1端子を使い、市販のXLR 4ピンコネクタ（メス）と接続する、またはDC IN 2端子を使い、付属の電源用コネクタと接続します。

以下の仕様の外部電源アダプター（市販）および電源ケーブル（市販）をご用意ください。また、外部電源アダプターおよび電源ケーブルは、UL、CSAなどお使用の国の安全規格に適合したものをご使用ください。

外部電源アダプター仕様

出力電圧：DC 11 ~ 17V

出力電流：3 A以上

電源ケーブル仕様

定格電圧：DC 30 V以上

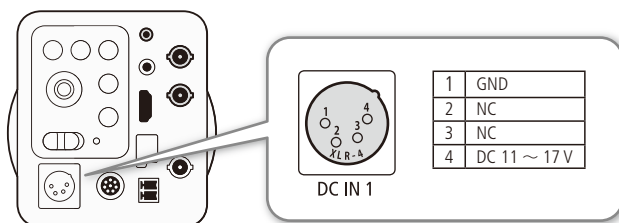
許容電流：3 A以上

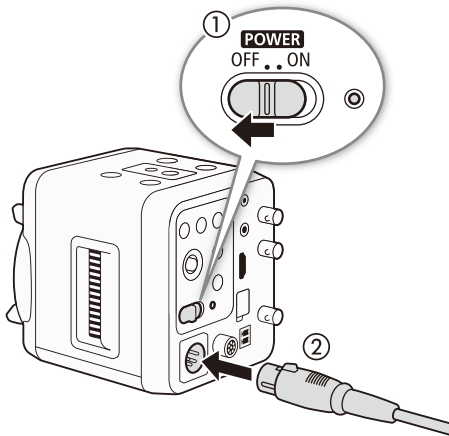
■ 接続する

DC IN 1端子を使う

下のピン配列を参考に電源ケーブルを準備してください。

DC IN 1端子：XLR 4ピン（オス）





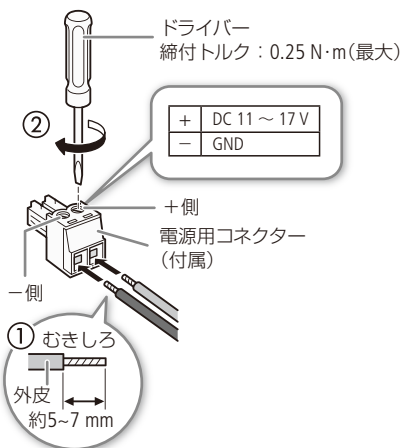
- 1 POWER (電源) スイッチをOFFにする (①)
- 2 DC IN 1端子にXLR 4ピンコネクターを差し込む (②)

DC IN 2端子を使う

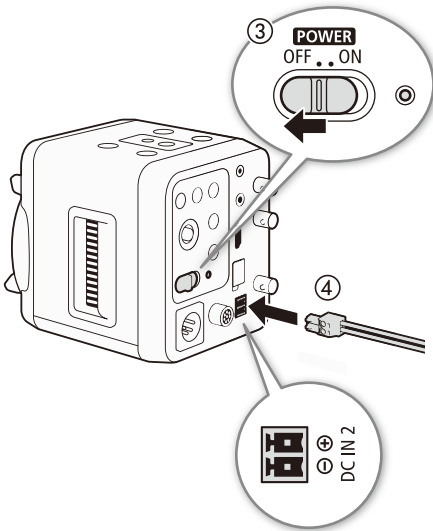
下の図のように付属の電源用コネクターに、電源ケーブルを取り付けてください。

DC IN 2端子：端子台 2ピン (オス)

電源ケーブル (参考)：AWG 24～16



- 1 電源ケーブルの外皮をむく (①)
- 2 電源用コネクター (付属) に1で加工した電源ケーブルを差し込む
 - 本機のDC IN 2端子は、極性がある。電源用コネクターに電源ケーブルを取り付けるときは、極性を確認する。
- 3 ドライバーでネジを締めて電源ケーブルを取り付ける (②)

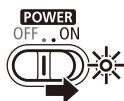
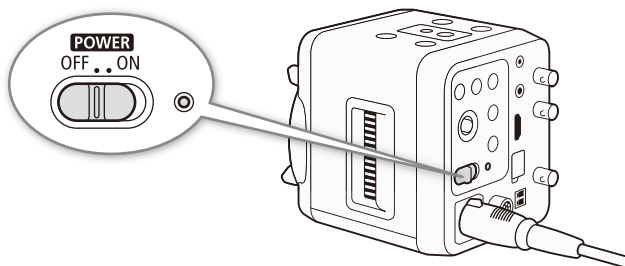


- 4 POWER（電源）スイッチをOFFにする（③）
- 5 DC IN 2端子に電源用コネクタを差し込む（④）

ご注意

- 商用電源と絶縁された電源をご使用ください。
- 外部電源には二重絶縁構造の機器をご使用ください。

■ 電源を入れる／切る



電源を入れる

POWER(電源)スイッチをONにする。

- 電源ランプが点灯する。



電源を切る

POWER(電源)スイッチをOFFにする。

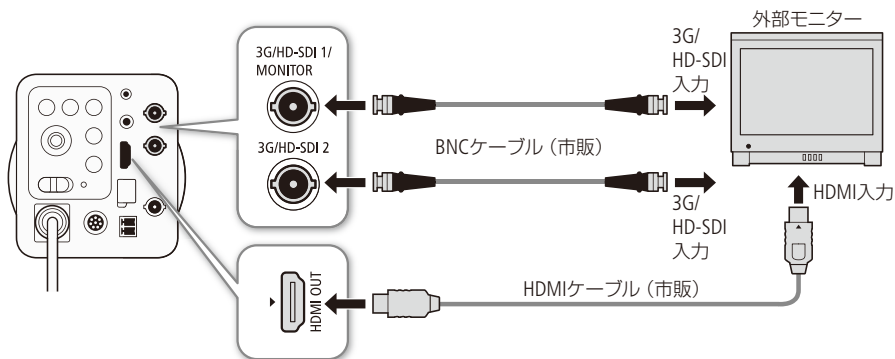
- 電源ランプが消灯する。

MEMO

- 電源ランプは点灯しないようにすることもできます (□87)。

外部モニターと接続する

本機の3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、3G/HD-SDI 2端子、またはHDMI OUT端子を使い、外部モニターと接続します。



■ 3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、または3G/HD-SDI 2端子を使う

本機の3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、または3G/HD-SDI 2端子と外部モニターをBNCケーブルで接続してください。

■ HDMI OUT端子を使う

本機のHDMI OUT端子と外部モニターをHDMIケーブルで接続してください。

MEMO

画面が映らないとき

- 「システム周波数」、「フレームレート」、「3G-SDI Mapping」が正しく設定されていません。「システム周波数」と「フレームレート」の設定を変更し（□92）、設定内容をご確認ください。

HDMI端子を搭載する外部モニターをお持ちの場合は、本機のHDMI OUT端子を使って接続すると、画面で設定を確認できます。

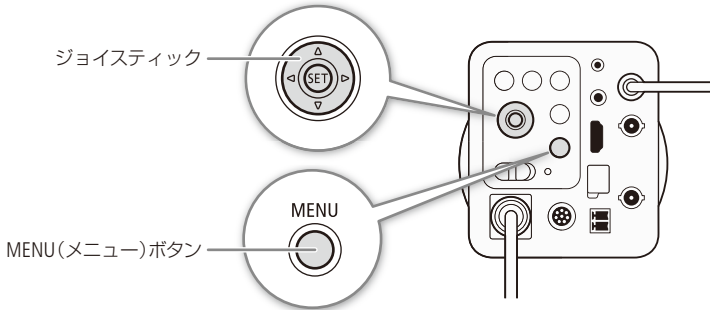
- 576P、480P入力のみ対応の外部モニターを接続するときは、HDMI OUT端子を使って接続してください。
- 576P、480Pの出力信号には、メニューなど画面表示の情報が重畳されません。
- 3G/HD-SDI 2端子からの出力信号には、メニューなど画面表示の情報が重畳されません。メニューなどを撮影画面に表示するときは、3G/HD-SDI 1/MONITOR端子かHDMI OUT端子をお使いください。

日時を設定する

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*1*2。操作に使用するボタンなどの位置を下のイラストで確認して、日時を設定してください。

*1 タイムゾーンの初期設定は「UTC-05:00 New York(ニューヨーク)」です。

*2 内蔵リチウム電池が放電したり、Other Functionsメニュー ▶ 「Reset」 ▶ 「All Settings」(□87)で本機をリセットしたときも同様です。



■ 日付と時刻を設定する



月日年時分を設定する

- ① ジョイスティックを上下に押して、「月」を選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。
 - カーソルが「日」に移動する。
 - ジョイスティックを押すたびに、月→日→年→時→分の順にカーソルが移動する。
 - ジョイスティックを左右に押ししても、カーソルは移動できる。
- ② ①の操作を繰り返して、日付/時刻を設定する。
- ③ カーソルが一番右の「Set」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックをまっすぐ押す。

Set Clock
Date/Time

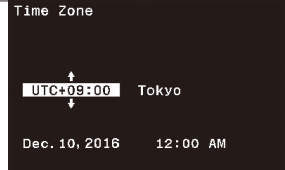
Jan. 01, 2016 12:00 AM Set

■ タイムゾーンや日時、日時スタイルを変更する



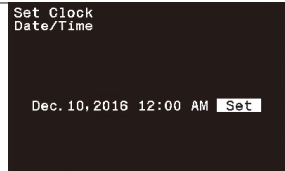
1 タイムゾーンを変更する

- ① MENUボタンを押す。
- ② ジョイスティックを上下に押して、「Other Functions」を選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、「Time Zone」を選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。
- ④ ジョイスティックを上下に押して、タイムゾーンを選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。



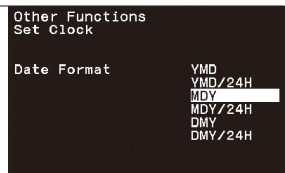
2 日時を変更する

- ① ジョイスティックを上下に押して、「Set Clock」を選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。
- ② 「Date/Time」を選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。
- ③ ジョイスティックを左右に押して、変更する月・日・年時分にカーソルを合わせる。
- ④ ジョイスティックを上下に押して数字を選び、カーソルが一番右の「Set」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックをまっすぐ押す。



3 日時スタイルを変更する

- ① ジョイスティックを上下に押して、「Date Fomat」を選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。
- ② ジョイスティックを上下に押して、日時スタイルを選び、ジョイスティックをまっすぐ押す。
- ③ MENUボタンを押す。

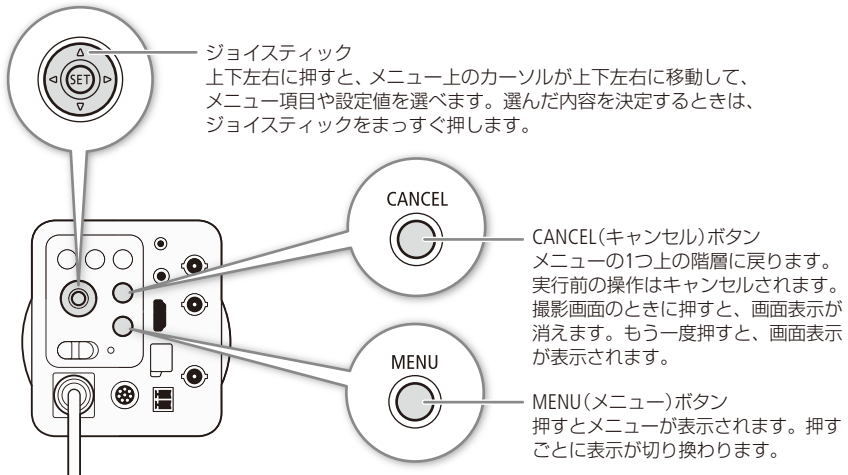


MEMO

- 外部レコーダーへ記録の要求をしているとき (□78)は、「Time Zone」と「Date/Time」を変更できません。
- 本機を約3ヵ月近く使わないと、内蔵の充電リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵リチウム電池を充電してから設定し直してください (□95)。
- 時刻は目安としてお使いください。
- 撮影画面の日時表示は、表示／非表示を選べます (□89)。

メニューで設定を変える

本機のみさまざまな機能をメニューで設定します。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しています。



■ メニュー操作の基本

1 メニューを表示させる

① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- MENUボタンを押すごとに画面表示がメニュー→撮影画面の順に切り換わる。
- メニューは、最後にメニューを設定したときの状態が保持されたまま表示される(電源をOFF / ONすると初期状態に戻る)。

Menu

```
CLOSE >
Camera Setup >
Custom Picture >
Audio/Video Setup >
Other Functions >
```

メニュー

AWB 5100K
Auto

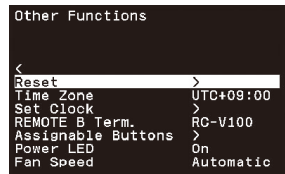
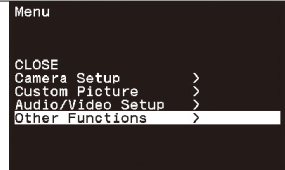
撮影画面



2 設定するメニューを選ぶ

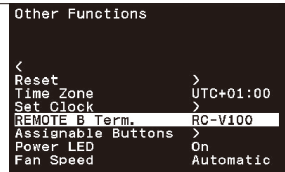
- ① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニューを選ぶ。
 - 選んでいるメニューがオレンジ色で表示される。
- ② ジョイスティックをまっすぐ押す*。
 - 選んだメニューのサブメニューが表示され、カーソルがメニュー項目に移動する。
 - ジョイスティックを右に押して、カーソルをメニュー項目へ移動することもできる。
 - メニューの設定項目が1画面以上あるときは、カーソルを上下に移動すると、メニューがスクロールする。

*以降、この操作を「SETを押す」と記載する。



3 設定するメニュー項目を選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。
- ② SETを押す。
 - カーソルが設定内容に移動する。
 - メニュー項目の右側に表示される「>」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
 - CANCELボタンを押すと、カーソルが1つ上の階層に戻る。メニュー画面の左上に「<」が表示されているときは、「<」にカーソルを合わせてSETを押す、またはジョイスティックを左に押ししても1つ上の階層に戻る。





4 設定内容を選び、設定する

- ① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。
- ② SETを押す。
 - 選んだ設定内容が確定し、上の階層のメニュー項目に戻る。

Other Functions

Fan Speed

Automatic
High
Middle
Low



5 メニューを消す

- ① MENUボタンを押す。
 - メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。
 - 「Menu」の「CLOSE」を選び、SETを押してもメニューは消える。

MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されます。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します（Camera Name入力時を除く）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続しているときは、RC-V100のMENUボタン、CANCELボタン、上/下/左/右/SET（設定）ボタンが本機のMENUボタン、CANCELボタン、ジョイスティックと同様に機能します。

カメラを準備する

ここでは、ブラックバランスの調整やレンズの取り付け／取り外しなど、はじめに行うカメラの準備について説明します。

■ ブラックバランスを調整する

はじめてご使用になるときや、使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整できます。



1 準備する

ボディキャップを使用するとき

- ① POWER(電源)スイッチをOFFにする。
 - レンズを取り付けているときは、電源を切った後にレンズを取り外す (□31)。
- ② ボディキャップ (□10)を取り付ける。
- ③ POWER(電源)スイッチをONにする。

本機が対応するEFシネマレンズ (□99)を使用するとき

既にEFシネマレンズを取り付けているときは、操作2に進む。

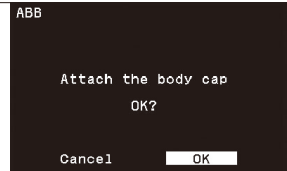
- ① POWER(電源)スイッチをOFFにする。
- ② EFシネマレンズを取り付ける (□30)。
- ③ POWER(電源)スイッチをONにする。

準備



2 オートブラックバランス (ABB)を実行する

- ① ABBボタンを押す。
 - 画面に「Attach the body cap OK?」、または「Proceed?」が表示される。
 - Camera Setupメニュー ▶ 「ABB」でもオートブラックバランス (ABB)を選べる。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に「Please wait...」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。



ボディキャップ使用時



EFシネマレンズ使用時



3 終了する

- 画面に「Process completed successfully.」と表示されたら調整完了。SETを押して終了する。

画面に「ABB error」(□93)が出たとき

- ボディキャップ、またはEFシネマレンズ (□99) によるセンサーの遮光が正しく行われていない。ボディキャップ、またはEFシネマレンズの取り付けやセンサーの遮光を確認し、SETを押して、再度操作2から操作する。

ABB

Process completed
successfully.

OK

MEMO

ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を長時間使用しなかった後に使用するとき。
- 周囲の温度が大幅に変化したとき。
- Other Functionsメニュー ▶ 「Reset」 ▶ 「All Settings」、または「Camera Settings」で、本機の設定をリセットしたとき。
- ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れることがありますが、故障ではありません。
- EFシネマレンズ (□99) を使用してブラックバランスを調整したときは、アイリスを再度調整してください。

■ レンズの取り付け／取り外し

レンズの取り付け／取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

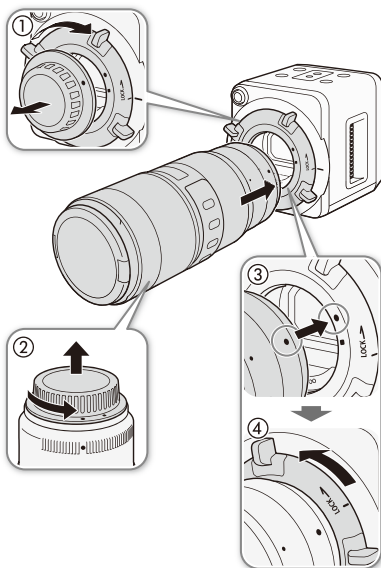
- レンズの取り付け／取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、本機やレンズを落とさないようにご注意ください。

MEMO

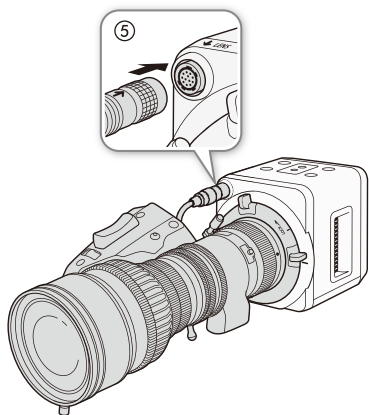
レンズを取り外したとき

- レンズ／本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- 本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。キャップはゴミやほこりを落としてから使用してください。

EFレンズを取り付ける



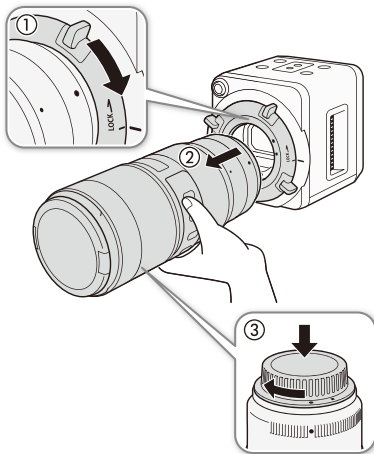
- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 マウントレバーを時計方向に回して①、EFレンズマウントからボディキャップを取り外す
- 3 レンズからダストキャップを取り外す ②
- 4 本機とEFレンズの取り付け指標(赤色)を合わせ、レンズをマウントに差し込む ③
 - EF-Sレンズを取り付けるときは、EF-Sレンズ取り付け指標(白色)に合わせる。
- 5 レンズを押さえ、マウントレバーを反時計方向に回して、レンズを固定する ④



12ピンケーブルを備えたEFシネマレンズ (EF99) を取り付けるとき

- 6 12ピン ケーブルをLENS (レンズ) 端子に接続する (5)
- 7 POWER (電源) スイッチをONにする
- 8 レンズのMENU画面を操作して、カメラからの信号経路を設定する
 - レンズのInfo画面「I/Fprior」を「Mount」に設定する。

EFレンズを取り外す



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
 - LENS(レンズ)端子に12ピンケーブルを接続しているときは、POWER(電源)スイッチをOFFにしてから、12ピンケーブルを抜く。
- 2 レンズの下から手を添え、マウントレバーを時計方向に回して①、レンズを取り外す②
- 3 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける
- 4 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける③

MEMO

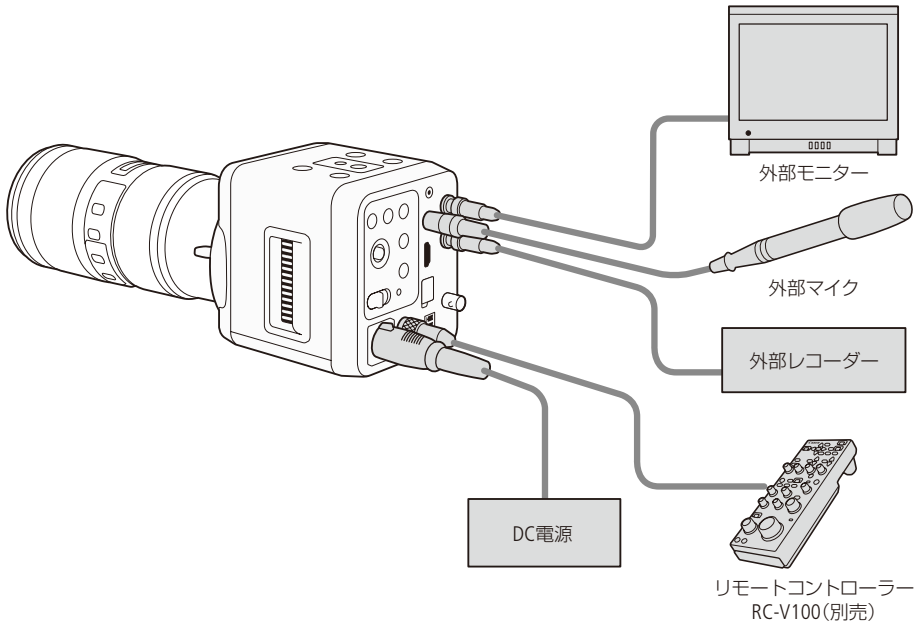
EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着したとき

- 本機のセンサーサイズは、EF-Sレンズが対応するサイズ(APS-C)やEFシネマレンズが対応するサイズ(スーパー35mm)より大きいいため、EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着すると、ケラレが発生することがあります。
 - Camera Setupメニュー ▶ 「EF-S Lens」を「On」にすると、ケラレを回避できます(□85)。ただし、電子的に約1.55倍に拡大するため、画質が劣化します。
- レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなりますが、レンズごとの補正データを適用して、周辺部の光量低下を補正できます(□85)。
 - ズーム操作によりF値が変化するEFレンズ*を装着したときは、ズーム操作に連動してF値を補正するかどうかを選べます(□84)。

*一部のEFレンズやEFシネマレンズを除く。

■ 外部機器を接続する

本機と外部モニターや外部レコーダー、リモートコントローラー RC-V100 (別売)、外部マイクなどを接続します。

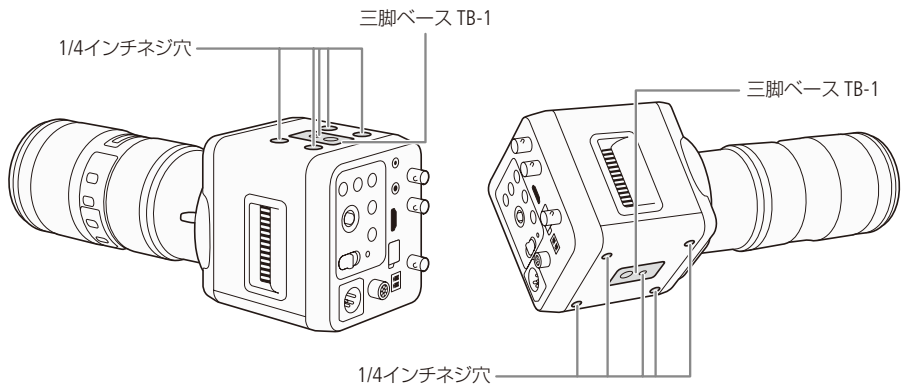


外部機器の接続については、以下のページを参照してください。

- 外部モニター (□21)
- 外部レコーダー (□78)
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) (□64)
- 外部マイク (□80)
- GENLOCK端子 (□79)

■ 本体を設置する

本機は、上面と底面に3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1と1/4インチネジ穴があります。設置場所に合わせて、三脚、雲台、ハウジングなどへ取り付けられます。



ご注意

- 5.5mm以上のネジを使用すると、本体を破損することがあります。



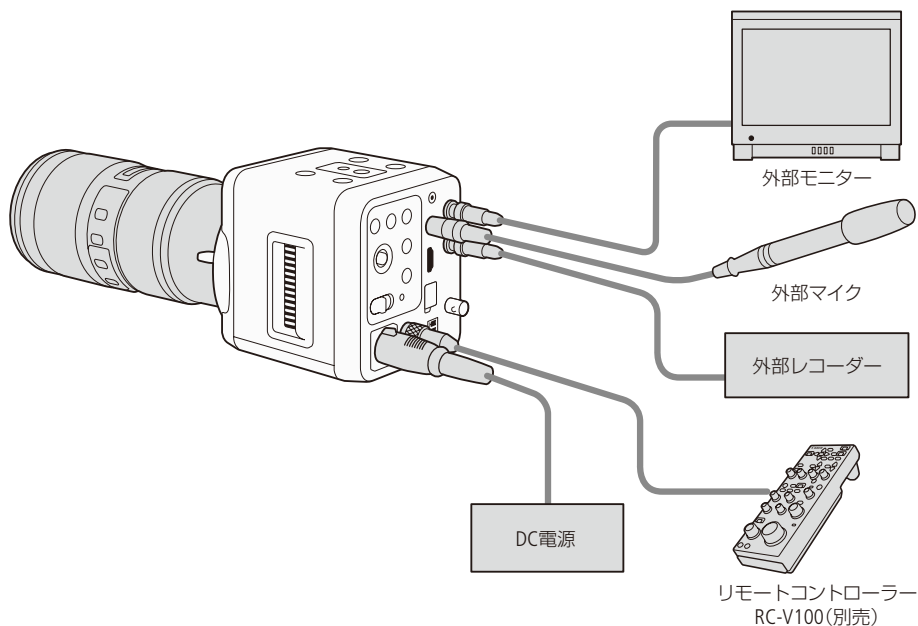
撮 影

撮影する.....	36	シャッタースピードを調整する.....	49
映像の信号形式を選ぶ.....	40	NDフィルターを使用する.....	51
カメラモードを選ぶ.....	41	ホワイトバランスを調整する.....	52
カメラダイレクト設定を使う.....	42	フォーカスを調整する.....	56
アイリスを調整する.....	43	アスペクトマーカを表示する.....	61
露出を調整する.....	46	赤外撮影をする.....	63
ゲインを調整する.....	47	リモートコントローラー RC-V100 (別売)を使う.....	64
ゲインの上限値を設定する.....	48		

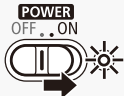

撮影する

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。撮影状況に応じて、レンズやDC電源、外部機器の構成を準備してください(□17、29、32)。音声の出力については、「音声を入力・出力する」(□80)をご覧ください。

■ 本機の接続例



■ 撮影する

- | | |
|---|--|
|  | 1 POWER(電源)スイッチをONにする (□ 20) |
|  | 2 システム周波数やアイリスなど撮影に必要な設定や調整をする (□ 40 ~ 64) |
| | 3 撮影する (□ 78) |

ご注意

- 冷却ファンの吸排気口をテープなどで塞がないでください。

MEMO**カラーバー／テストトーンを出力する**

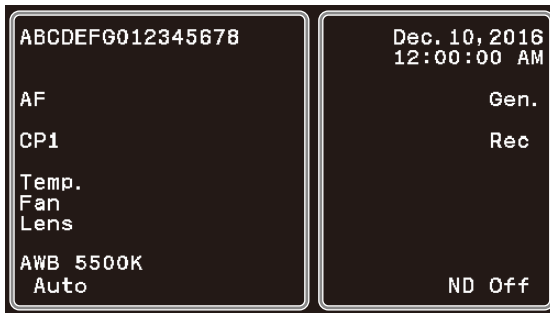
- 本機のBARボタン、またはリモートコントローラー RC-V100 (別売) のBARSボタンを押すと、カラーバーを出力できます。また、Camera Setupメニュー ▶ 「Color Bars」 ▶ 「Activate」を「On」にしても、カラーバーを出力できます (□85)。
- Camera Setupメニュー ▶ 「Color Bars」 ▶ 「Type」でカラーバーのタイプを変更できます (□85)。
- Audio/Video Setupメニュー ▶ 「1kHz Tone」を「On」にすると、カラーバーと同時に1 kHzのテストトーンを出力できます (□86)。

冷却ファンについて

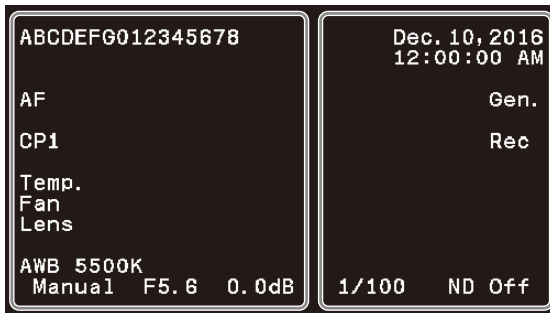
- Other Functionsメニュー ▶ 「Fan Speed」で、冷却ファンの回転速度を変更できます (□88)。
 - 冷却ファンの回転中は、排気口から暖かい空気が排出されます。
 - 撮影画面に冷却ファン警告が表示されたときは、冷却ファンが故障した可能性があります (□93)。お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先 (裏表紙) にご相談ください。
- Other Functionsメニュー ▶ 「Scan Reverse」で、映像を上下左右に反転して出力できます (□88)。

■ 撮影画面表示

カメラモード (□41)によって表示内容が変わります。



「Auto」の画面例



「Auto」以外の画面例

左側と中央

表示	説明
ABCDEFG012345678	カメラ名称 (□89)
AF	ワンショットAF(□57)
CP1 ~ CP4、EOS、WDR、C.Log、Blue、Green	カスタムピクチャーファイル (□70 ~ 74)

表示	説明
Temp. (赤文字)	温度警告 (□93)
Fan (赤文字)	冷却ファン警告 (□93)
Lens (赤文字)	レンズ通信エラー (□93)
AWB 00000K	オートホワイトバランス (□52)
WB-A、WB-B 00000K	ホワイトバランスセット (□53)
Dylt ±0	ホワイトバランスプリセット (太陽光)と微調整値 (□55)
Tung ±0	ホワイトバランスプリセット (電球)と微調整値 (□55)
Kelv 00000K	ホワイトバランス色温度と色温度設定値 (□55)
Auto/Tv/Av/AGC/Manual	カメラモード (□41)
F0.0、Clsd*	F値 (□43) カメラモードが「Tv」のときは、灰色表示。「Auto」のときは非表示 * EFシネマレンズ装着時のみ (□99)。
00.0dB	ゲイン (□47) カメラモードが「Tv」、「Av」、「AGC」のときは、灰色表示。「Auto」のときは非表示

右側

表示	説明
mmm.dd.yyyy HH:MM:SS	日時表示 (□87)
Gen.	GENLOCK検知・同期表示 (□79)
Rec	外部レコーダーに記録を要求中 (□78)
1/0000	シャッタースピード (□49) カメラモードが「Av」のときは、灰色表示。「Auto」のときは非表示
ND 0/00、ND Off	NDフィルター (□51) カメラモードが「Manual」以外で、NDモードが「Automatic」のときは、灰色表示。カメラモードが「Auto」で、NDモードが「Automatic」のときは、非表示
IR	赤外線撮影 (□63)

MEMO

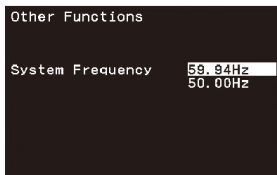
- 撮影画面でCANCELボタンを押すと、画面表示が消えます。もう一度CANCELボタンを押すと、画面表示が表示されます (□24)。
- 576P、480P入力のみ対応の外部モニターを接続するときは、HDMI OUT端子を使って接続してください。
- 576P、480Pの出力信号には、メニューなど画面表示の情報が重畳されません。
- 3G/HD-SDI 2端子からの出力信号には、メニューなど画面表示の情報が重畳されません。メニューなどを撮影画面に表示するときは、3G/HD-SDI 1/MONITOR端子かHDMI OUT端子をお使いください。

映像の信号形式を選ぶ

映像の信号形式を選びます。信号形式は、解像度とフレームレートの組み合わせからなります。フレームレートは、システム周波数によって選べる値が異なります。

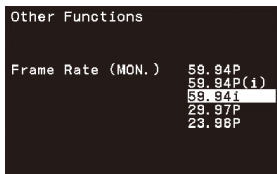
解像度	システム周波数／フレームレート							
	59.94Hz				50.00Hz			
	59.94P	59.94i/ 59.94P(i)*	29.97P	23.98P	50.00P	50.00i/ 50.00P(i)*	25.00P	25.00PsF
1920×1080	●	●	●	●	●	●	●	●
1280×720	●	—	●	●	●	—	●	—

* プログレッシブ方式で撮影時、3G/HD-SDI 1/MONITOR端子からの出力をインターレース方式に切り替えて出力したい場合を選択します (3G/HD-SDI 2端子からは、プログレッシブ方式で出力されます)。



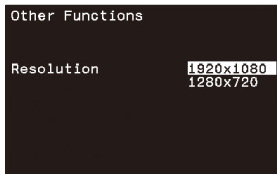
1 システム周波数を選ぶ

- ① Other Functionsメニュー ▶ 「System Frequency」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「59.94Hz」、または「50.00Hz」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 現在のシステム周波数から変更したときは、本機が再起動する。
 - 外部モニターに何も表示されないときは (□92)



2 フレームレートを選ぶ

- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Frame Rate (MON.)」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



3 解像度を選ぶ

- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Resolution」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「1920×1080」、または「1280×720」を選ぶ ▶ SETを押す。

カメラモードを選ぶ

カメラモードは、5つのモードから選びます。

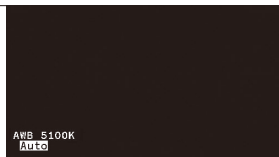
- Auto(オート)： 露出が適正になるように、アイリス、ゲイン、シャッタースピードを自動で調整します。
- Tv(シャッター優先AE)： シャッタースピードを手動で設定できます。シャッタースピードを設定すると被写体の明るさに応じて、アイリス、ゲインを自動で調整します。低照度から動きの速い被写体まで撮影環境に合わせて撮影できます。
- Av(絞り優先AE)： 絞り(アイリス)を手動で設定できます。絞り値(F値)を設定すると被写体の明るさに応じて、ゲイン、シャッタースピードを自動で調整します。絞り値を調整すると、被写界深度を変えて撮影できます。
- AGC(Auto Gain Control)： シャッタースピードと絞り(アイリス)を手動で設定できます。シャッタースピード、アイリスを設定すると被写体の明るさに応じて、ゲインを自動で調整します。
- Manual(マニュアル)： アイリス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、ホワイトバランスを手動で調整できます。

カメラモードが「Manual」以外するとき、NDフィルター(☐51)とホワイトバランス(☐52)は自動で調整しますが、手動でも操作できます。



1 カメラモードを選ぶ

- ① 撮影画面でSETを押す。
 - カメラモードにカーソルが合っていないときは、ジョイスティックを左右に押して、カメラモードにカーソルを合わせる。
- ② ジョイスティックを上下に押して、設定したいカメラモードを選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

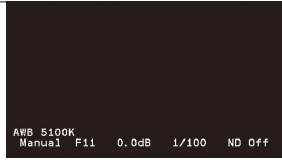
- Camera Setupメニュー ▶ 「AE Response」で、自動露出の応答性を変更できます(カメラモードが「Manual」以外するとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時)(☐83)。
- Camera Setupメニュー ▶ 「Auto Slow Shutter」で、カメラモードが「Auto」または「Av」のときのシャッタースピードを、現在設定しているフレームレートより下げないように設定できます(☐83)。
- カメラモードが「Manual」以外るときに明るさが変わると、露出がなめらかに変化しないことがあります。
- はじめて電源を入れたときや、Other Functionsメニュー ▶ 「Reset」 ▶ 「All Settings」、または「Camera Settings」(☐87)で設定をリセットしたときは、カメラモードが「Auto」になります。

カメラダイレクト設定を使う

ジョイスティックを操作して、カメラモード、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、ホワイトバランスを設定できます。ここでは、基本的な操作を説明します。詳細については各機能のページをご覧ください。



1 カメラモードを「Auto」以外に設定する (☞ 41)

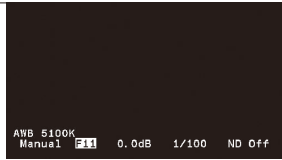


AWB 5100K
Manual F11 0.0dB 1/100 ND Off



2 カメラダイレクト設定に入る

- ① 撮影画面でSETを押す。
 - いずれかの項目にカーソルが合う。

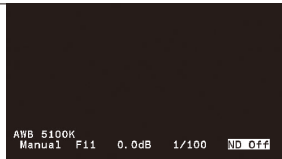


AWB 5100K
Manual F11 0.0dB 1/100 ND Off



3 設定する

- ① ジョイスティックを左右に押し、設定したい項目にカーソルを合わせる。
 - ジョイスティックを左右に押しすごとに、設定対象が切り換わる。
- ② ジョイスティックを上下に押し、設定値を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - カーソル表示が解除される。



AWB 5100K
Manual F11 0.0dB 1/100 ND Off

MEMO

カメラダイレクト設定が終了する場合

- 約6秒間操作しなかったとき。
- MENUボタンやCANCELボタンを押したとき。

アイリスを調整する

アイリスを調整できます。調整方法はマニュアルとプッシュオートアイリスから選びます。設定可能な値 (F値) は取り付けられたレンズによって変わります。

- マニュアル： 任意のF値に手動調整する。(カメラモードが「Av」、「AGC」または「Manual」のとき)
- プッシュオートアイリス： アサインボタンでF値を一時的に自動調整する。(カメラモードが「Manual」のとき)

カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	アイリス動作モード切替えスイッチ	A
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート/マニュアル切替えスイッチ	A

■ マニュアルで調整する



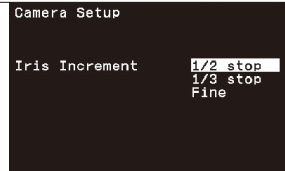
1 カメラモードを「Av」、「AGC」または「Manual」に設定する (41)

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする (43, 99)。



2 F値の刻み幅を選ぶ

- ① Camera Setupメニュー ▶ 「Iris Increment」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「1/2 stop」、「1/3 stop」、または「Fine」(1/3 stopより細かい刻み幅) のいずれかの設定を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ MENUボタンを押す。

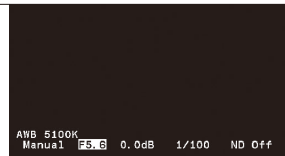


MENU



3 アイリスを調整する

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押し、F値にカーソルを合わせる。
- ③ ジョイスティックを上下に押し、任意のF値を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 操作2で「Fine」を選んだときは、「1/3 stop」刻みで表示される。



MEMO

EFシネマレンズ (□99)を装着しているとき

- アイリスがクローズに近づくと、F値は灰色文字で表示されます。そのあと、F値は白色文字で「Clsd」と表示されますが、「Clsd」と表示されていても、アイリスが完全に閉じていないことがあります。
- アイリスがオープン、またはクローズの状態からF値を変更する場合、アイリスの動作に複数回の調整操作が必要となることがあります。
- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズ*を装着したときは、Camera Setupメニュー ▶ 「Zoom-Iris Correct.」で、ズーム操作に連動してF値を補正するかどうかを選べます (□84)。
*一部のEFレンズやEFシネマレンズを除く。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使ってアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS (アイリス) ダイヤルを時計方向に回すとF値が小さくなり、反時計方向に回すとF値が大きくなります (調整方向はRC-V100側の設定で変更できます)。
- 本機で表示、または設定するF値は目安です。

■ 一時的に自動で調整する (プッシュオートアイリス)

アサインボタンを押している間、アイリスを自動的に調整して適正な露出にします。

例：アサイン1ボタンに「Push Auto Iris」を割り当てる場合



1 アサイン1ボタンに「Push Auto Iris」を割り当てる (□ 69)

- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Assignable Buttons」 ▶ 割り当てるアサインボタン番号を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Push Auto Iris」を選ぶ ▶ SETを押す。

Other Functions
Assignable Buttons

```
1 (NONE)
  One-Shot AF
  Push Auto Iris
  ABB
  AE Shift +
  AE Shift -
  Color Bars
  Aspect Marker
```



2 カメラモードを「Manual」に設定する (□ 41)



3 アサイン1ボタンを押し続ける

- 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。



4 アサイン1ボタンを離す

- アイリスの自動調整が終了し、F値はボタンを離したときの値で固定される。

MEMO

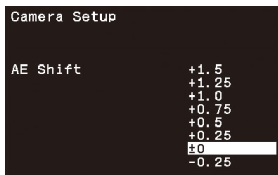
- Camera Setupメニュー ▶ 「AE Response」で、自動露出の応答性を変更できます（カメラモードが「Manual」以外するとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時）（P83）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のFOCUS（フォーカス）ダイヤル操作中は、プッシュオートアイリスを使用できません。

露出を調整する

露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影できます（カメラモードが「Manual」以外するとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時）。補正値は-2.0段～+2.0段まで17段階で設定できます。

■ マニュアルで調整する (AE*シフト)

*AE=Automatic Exposure(自動露出)



- ① Camera Setupメニュー ▶ 「AE Shift」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 任意の補正値を選ぶ ▶ SETを押す。
 - カメラモードが「Manual」以外ときは、選んだ補正値の効果を画面で見ながら選べる。

-2.0、-1.75、-1.5、-1.25、-1.0、-0.75、-0.5、-0.25、
±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+1.75、+2.0

MEMO

- 「AE Shift +」と「AE Shift -」を割り当てたアサインボタンで、調整することもできます（□69）。
- プッシュオートアイリスとAEシフトは、同時に調整できません。

■ 測光方式を設定する

カメラモードが「Manual」以外するときや、カメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスでアイリスを自動調整するとき、撮影シーンに合わせて測光方式を3種類から選べます。



- ① Camera Setupメニュー ▶ 「Light Metering」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② いずれかの設定を選ぶ ▶ SETを押す。

- 「Backlight」（バックライト）： 逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。
- 「Standard」（スタンダード）： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
- 「Spotlight」（スポットライト）： スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

MEMO

- カメラモードが「Manual」のとき、測光方式を変えても露出は変更されません。手動で適正露出に調整してください。

ゲインを調整する

カメラモードが「Manual」のとき、ゲインを調整できます。

■ 設定できるゲイン

0.0dB ~ 75.0dB (3.0dB刻み)

■ 調整する

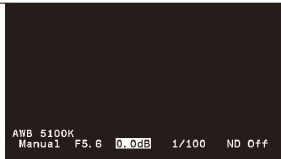


1 カメラモードを「Manual」に設定する (P.41)



2 ゲインを調整する

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、ゲインにカーソルを合わせる。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、任意のゲインを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 任意のゲインは画面を確認しながら選べます。



AWB 5100K
Manual F5.6 0.0dB 1/100 ND Off

MEMO

- ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。
- ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出る場合があります。このときはシャッタースピードを上げるか、ゲインを下げてください。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)を使ってゲインを調整するときは、RC-V100のISO/GAIN上ボタンを押すとゲインが上がり、下ボタンを押すとゲインが下がります。

ゲインの上限値を設定する (AGC*リミット)

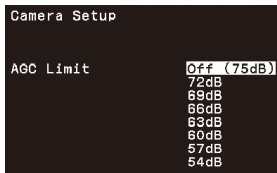
カメラモードが「Manual」以外のおき、ゲインの自動調整の上限値を設定しておくこと、ゲインが上がることによるノイズの発生を抑制できます。

*AGC=Auto Gain Control

■ 設定できるゲインの上限値

Off (75dB) ~ 36dB (3dB刻み)

■ 設定する



- ① Camera Setupメニュー ▶ 「AGC Limit」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② いずれかの値を選ぶ ▶ SETを押す。

シャッタースピードを調整する

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。

■ 設定できるシャッタースピード

フレームレートやシステム周波数によって設定できるシャッタースピードが異なります。

フレームレート	フレームレート				
	59.94P / 59.94P(i) / 59.94i	29.97P	23.98P	50.00P / 50.00P(i) / 50.00i	25.00P / 25.00PsF
システム周波数	59.94Hz			50.00Hz	
シャッター スピード	1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、1/10、 1/12、1/15、1/17、1/20、1/24、 1/30、1/34、1/40、1/48、1/60、 1/75、1/90、1/100、1/120、 1/150、1/180、1/210、1/250、 1/300、1/360、1/420、1/500、 1/600、1/720、1/840、1/1000、 1/1200、1/1400、1/1700、 1/2000	1/3、1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、 1/10、1/12、1/15、1/17、1/20、 1/24、1/30、1/34、1/40、1/48、 1/60、1/75、1/90、1/100、 1/120、1/150、1/180、1/210、 1/250、1/300、1/360、1/420、 1/500、1/600、1/720、1/840、 1/1000、1/1200、1/1400、 1/1700、1/2000	1/3、1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、 1/10、1/12、1/14、1/16、1/20、 1/25、1/29、1/33、1/40、1/50、 1/60、1/75、1/90、1/100、 1/120、1/150、1/180、1/210、 1/250、1/300、1/350、1/400、 1/500、1/600、1/700、1/800、 1/1000、1/1200、1/1400、 1/1600、1/2000		

■ 調整する



1 カメラモードを「Manual」、「Tv」または「AGC」に設定する (41)



2 シャッタースピードを選ぶ

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、シャッタースピードにカーソルを合わせる。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、任意のシャッタースピードを選ぶ ▶ SETを押す。

AWB 5500K
Manual F5.6 0.0dB 1/100 ND Off

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100(別売)を使ってシャッタースピードを調整するときは、RC-V100のSHUTTER上ボタンを押すとシャッタースピードが上がり、SHUTTER下ボタンを押すとシャッタースピードが下がります。

人工光源（蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなど）の照明下でフリッカーが気になるとき

- Camera Setupメニュー ▶ 「Flicker Reduction」を「Automatic」にすると、人工光源のフリッカーを自動的に検知して補正します* (□83)。

*撮影条件によっては、補正できないこともあります。

- 人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出る場合があります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると、抑制できる場合があります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*、または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒、または1/120秒を選んでください。

*フレームレートによっては選択できません。

NDフィルターを使用する

NDフィルターを使用すると、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像を表現できます*。NDフィルターは2種類から選べます。

*アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。

■ 設定できるNDフィルター

1/8(3 stops)、1/64(6 stops)

■ 設定する



MENU



1 カメラモードが「Manual」以外するとき

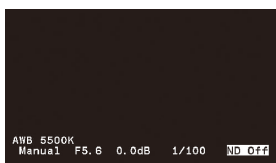
NDモードを「Manual」に設定する

- ① Camera Setupメニュー ▶ 「ND Mode」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Manual」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ MENUボタンを押す。



2 NDフィルターを選ぶ

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、NDフィルターにカーソルを合わせる。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、任意のNDフィルターを選ぶ ▶ SETを押す。



撮
影

MEMO

- シーンによっては、NDフィルターを入/切すると、わずかに発色が変わることがあります。このときは、ホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です (P.53)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)を使ってNDフィルターを選ぶときは、RC-V100のNDボタンを押してNDフィルターを選びます。RC-V100のNDフィルターランプの意味は、次の通りです。
OFF : NDフィルターなし 1 : 1/8 2 : 1/64 3, 4 : 使用しない

ホワイトバランスを調整する

照明や太陽光の光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを4種類から選べます。

■ 設定できるホワイトバランス


オートホワイトバランス (AWB) : 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

ホワイトバランスセット (WB-A、WB-B) : グレーカードや白い無地の被写体を映して基準白色を取り込む。
「WB-A」、「WB-B」の2種類の設定を登録できる。

プリセット設定 (Dylt、Tung) : 「Dylt(太陽光)」、「Tung(電球)」のいずれかを選ぶ。
-9 ~ +9の範囲で微調整可能。

色温度設定 (Kelv) : 2000K ~ 15000K(100K刻み)の範囲で色温度を設定する。

MEMO

- カスタムピクチャーの「Color Matrix」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます (□ 70)。
- Camera Setupメニュー ▶ 「Shockless WB」を「On」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させます (□ 83)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)のA / Bボタン、PRESETボタン、ボタン、AWBボタンを使って、調整できます。
- 本機で表示、または設定する色温度は目安です。

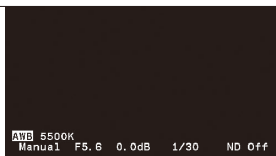
■ オートホワイトバランス (AWB)で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整します。



1 オートホワイトバランス (AWB)に切り換える

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、ホワイトバランスにカーソルを合わせる。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、「AWB」(オートホワイトバランス)を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

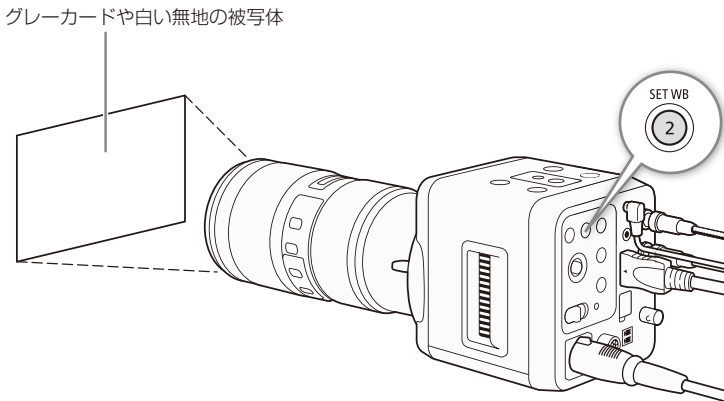
オートホワイトバランスで画面の色が不自然なときは

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは、ホワイトバランスセットで調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯／LED照明下での撮影。

■ ホワイトバランスセットで調整する

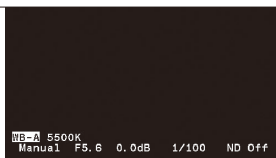
実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「WB-A」と「WB-B」の2種類の設定を登録できます。





1 ホワイトバランスセット (「WB-A」、「WB-B」) に切り換える

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、ホワイトバランスにカーソルを合わせる。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、「WB-A」、または「WB-B」を選ぶ ▶ SETを押す。



登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき

「WB-A」、または「WB-B」を選ぶ ▶ SETを押す。以降の操作は不要。

- ホワイトバランスセットを登録していないときは、選んだ「WB-A」 / 「WB-B」が画面上で点滅する。

2 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す

SET WB



3 基準白色を取り込んで、登録する

SET WBボタンを押す。

- 「WB-A」、または「WB-B」が速く点滅する。
- 調整中は、グレーカードや白の無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
- 点滅→点灯に変わったら調整が終わり、登録される。登録したホワイトバランスセットは、電源を切っても記憶されている。

MEMO

ホワイトバランスセットで調整するとき

- 場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、ホワイトバランスを再調整してください。
- 光源によっては、ごくまれに「WB-A」、「WB-B」が速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがあります。そのときでもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

■ プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用のプリセット設定か、色温度設定を選んでホワイトバランスを調整できます。プリセット設定は、+9～±0～-9の範囲で微調整できます。色温度設定は、2000K～15000Kの範囲を100K刻みで設定できます。



1 プリセット設定（「Dylt」、「Tung」）／色温度設定（「Kelv」）に切り換える

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押し、ホワイトバランスにカーソルを合わせる。
- ③ ジョイスティックを上下に押し、プリセット設定（「Dylt」、「Tung」）、または色温度設定（「Kelv」）を選ぶ。

Dylt ±0
Manual F5.6 0.0dB 1/100 ND Off



2 プリセット設定、または色温度設定を調整する

- ① ジョイスティックを右に押し、微調整値、または色温度にカーソルを合わせる。
 - SET WBボタンでもカーソルを合わせられる。
- ② ジョイスティックを上下に押し、任意の微調整値、または色温度を選ぶ ▶ SETを押す。

Dylt ±0
Manual F5.6 0.0dB 1/100 ND Off

フォーカスを調整する

フォーカスの調整は、マニュアルフォーカスとワンショットAFの2種類あります。P.58のMEMOもあわせてご覧ください。

マニュアルフォーカス： レンズのフォーカスリングを回して、手でフォーカスを調整する。

ワンショットAF *1： アサインボタンで一時的にフォーカスを自動調整する。

*1 マニュアルフォーカスレンズ装着時とCN20×50 IAS H/E1装着時を除く。

フォーカス調整	調整方法	レンズのフォーカスモードスイッチ (フォーカスサーボ/マニュアル切替えノブ)
マニュアルフォーカス	フォーカスリング	MF / MANU.
	FOCUS(フォーカス)ダイヤル*2	AF / SERVO
ワンショットAF	アサインボタン (One-Shot AF割り当て)	AF / SERVO

*2 リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続時。

カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
EFレンズ	フォーカスモードスイッチ	AF	MF
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	フォーカスサーボ/マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス/マニュアルフォーカス切 替えスイッチ	AF	MF

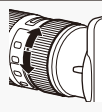
■ マニュアルでフォーカスを調整する

マニュアルでフォーカスを調整できます。



1 レンズのフォーカスモードスイッチをMFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのフォーカス設定をマニュアルにする (□56、99)。



2 フォーカスリングを回して、ピントを合わせる

MEMO

- EFレンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしたまま、フォーカスリングで調整できるものがあります。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使ってフォーカスを調整するときは、レンズのフォーカスモードスイッチ (またはフォーカスサーボ/マニュアル切替えノブ) を、AF (またはSERVO) のままにしてください。
- RC-V100 を使ってフォーカスを調整するときは、RC-V100 のFOCUS (フォーカス) ダイアルを時計方向に回すと無限遠方向に、反時計方向に回すと至近方向にフォーカスを調整できます (調整方向はRC-V100側の設定で変更できます)。
- レンズのアクセサリーを使ってフォーカスを調整するときは、Camera Setupメニュー ▶ 「Focus Control」の設定を変更してください (☐ 84)。

ワンショットAFでフォーカスを調整する

被写体に自動でピントを合わせます。操作を行ったときに1度だけ合焦動作を行います。

例：アサイン1ボタンに「One-Shot AF」を割り当てる場合



1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする (☐ 56、99)。



2 アサイン1ボタンに「One-Shot AF」を割り当てる (☐ 69)

- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Assignable Buttons」
▶ 割り当てるアサインボタン番号を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「One-Shot AF」を選ぶ ▶ SETを押す。

Other Functions
Assignable Buttons

```
1 (NONE)
  One-Shot AF
  Push Auto Iris
  ABB
  AE Shift +
  AE Shift -
  Color Bars
  Aspect Marker
```



3 アサイン1ボタンを押し続ける

- フォーカスを調整している間、撮影画面の「AF」が速く点滅する。ピントが合うと「AF」が点灯に変わる。アサインボタンを離すと、撮影画面の「AF」は消える。
- ワンショットAFが使用できないときや、ピントが合わないときは撮影画面の「AF」が赤字で遅く点滅する。

AF

Auto

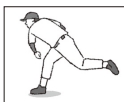
オートフォーカスでピントが合いにくいとき



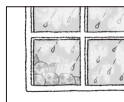
強い光が反射



画面中央に
明暗差がない



動きが速い



水滴が付いた
ガラス越しの撮影



低照度

MEMO

- フレームレートとシャッタースピードの組み合わせが以下の場合、ワンショットAFが使用できません。

フレームレート	シャッタースピード
59.94P / 59.94P(i) / 59.94i, 29.97P	1/4秒、1/5秒、1/6秒
23.98P	1/3秒、1/4秒、1/5秒
50.00P / 50.00P(i) / 50.00i, 25.00P / 25.00PsF	1/3秒、1/4秒、1/5秒

マニュアルフォーカス、オートフォーカスで調整するとき

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。

オートフォーカスで調整するとき

- ゲインを上げると、ピントが合いにくくなることがあります。
- カスタムピクチャーで、ガンマをWide DR、またはCanon Logに設定すると、ピントが合いにくくなる場合があります。
- ピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

ピント合わせに時間がかかる場合

- フレームレートが29.97P、25.00P、25.00PsF、23.98Pのいずれかの場合。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

■ フォーカスリミットを設定する

ワンショットAFでフォーカスを調整するとき、装着しているレンズの至近側～無限遠側の範囲でフォーカスを制限するかどうかを選べます。

フォーカスの制限位置を有効にする



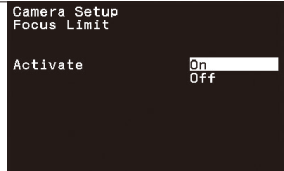
1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする (□□56、99)。



2 フォーカスの制限位置を有効にする

- ① Camera Setupメニュー ▶ 「Focus Limit」 ▶ 「Activate」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「On」を選ぶ ▶ SETを押す。



フォーカスの無限遠側／至近側を制限する



無限遠側を制限する

- ① 制限したいフォーカス位置にフォーカスを合わせる。
- ② Camera Setupメニュー ▶ 「Focus Limit」 ▶ 「Far」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。
- ③ 「Set」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 解除するときは「Reset」を選ぶ。



至近側を制限する

- ① 制限したいフォーカス位置にフォーカスを合わせる。
- ② Camera Setupメニュー ▶ 「Focus Limit」 ▶ 「Near」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。
- ③ 「Set」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 解除するときは「Reset」を選ぶ。

MEMO

- 電源を切る、またはレンズを交換すると、フォーカスリミットの設定が解除されます。電源を入れ直したり、レンズを交換したときは、設定し直してください。
- フォーカスの制限は、後から設定した位置が優先されます。
 - 先に設定した無限遠側の制限位置が、後から設定した至近側の制限位置内に入ったときは、至近側の制限位置が優先される（無限遠側の制限位置は解除される）。
- フォーカスが制限されている状態でワンショットAFを実行し、制限位置内にフォーカスが合うポイントがないとき、フォーカスはワンショットAFを実行する前のフォーカス位置付近に戻ります。
- フォーカスの制限後にズーム操作を行うと、フォーカスの制限位置がズレます。制限値を再設定してください。

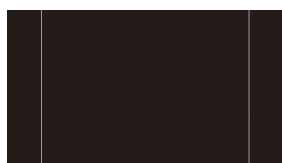
アスペクトマーカを表示する

撮影画面にアスペクトマーカを表示できます。アスペクト比は5種類から選べます。

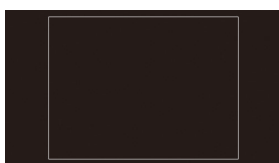
■ 設定できるアスペクトマーカ

色： 黒、灰色、白

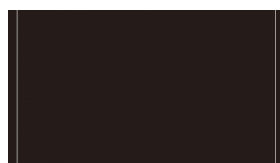
アスペクト比： 4:3、4:3 S35mm(スーパー 35mm)、1.66:1、1.85:1、2.39:1



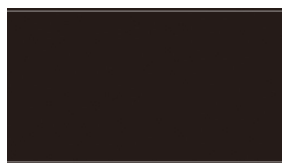
4 : 3



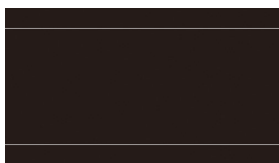
4 : 3 S35mm(スーパー 35mm)



1.66 : 1



1.85 : 1



2.39 : 1

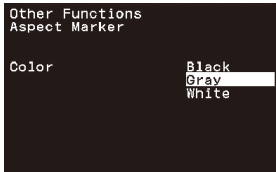
■ 設定する

アスペクトマーカを表示する



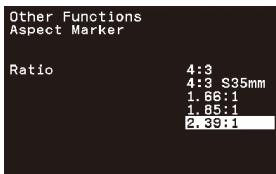
- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Aspect Marker」 ▶ 「Activate」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「On」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - アスペクトマーカの表示を確認するときは、MENUボタンを押す。もう一度MENUボタンを押すと、メニュー画面に戻る。

アスペクトマーカの色を選ぶ



- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Aspect Marker」 ▶ 「Color」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Black」、「Gray」、または「White」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

アスペクト比を選ぶ



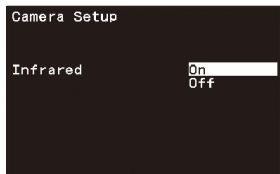
- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Aspect Marker」 ▶ 「Ratio」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② いずれかのアスペクト比を選ぶ ▶ SETを押す。

MEMO

- 「Aspect Marker」を割り当てたアサインボタンを押して、アスペクトマーカを表示をOn / Offできます (☐ 69)。

赤外線撮影をする

通常の撮影に比べて近赤外線の受光感度が上がるため、暗い撮影シーンでも鮮明に撮影できます。カスタムピクチャーを使用したり、カメラモードの設定によりアイリスやゲインなどの項目を調整できます。



1 「Infrared」を選ぶ

- ① Camera Setupメニュー ▶ 「Infrared」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「On」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 撮影画面に「IR」が表示される。

2 調整する

「Infrared」が「On」の場合に調整できる項目は、下表をご覧ください。

調整項目	条件	📖
アイリス	カメラモード「Av」、「AGC」または「Manual」を選んだとき。	43
ゲイン	カメラモード「Manual」を選んだとき。	47
シャッタースピード	カメラモード「Tv」、「AGC」または「Manual」を選んだとき。	49
フォーカス	なし	56
ホワイトバランス	Custom Pictureメニュー ▶ 「Fine Tuning」 ▶ 「White Balance」を選んだとき。	75
NDフィルター	使用できない。	51
測光方式	調整できない。	46

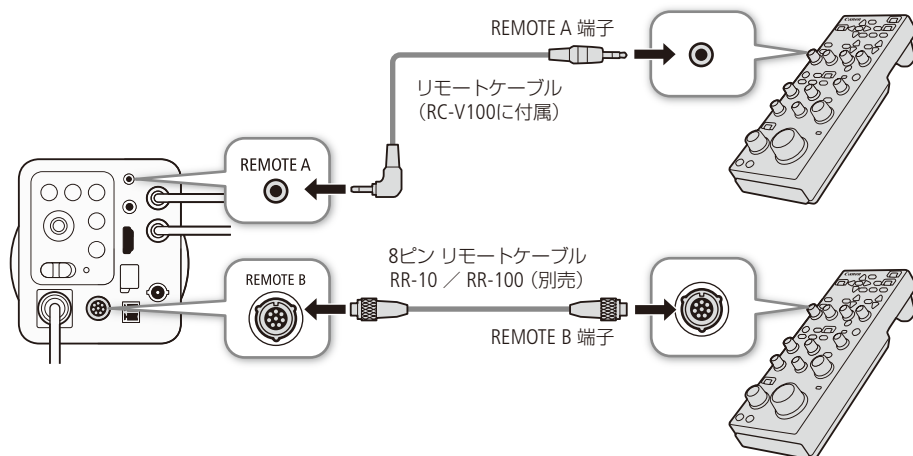
MEMO

- 「Infrared」を「On」にしたとき、光源の種類によっては、オートフォーカスが合いにくくなることがあります。

リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

リモートコントローラーRC-V100(別売)を接続すると、本機をリモートで操作できます。電源のON/OFFやメニュー操作に加えて、撮影時はアイリス、シャッターなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書*をご覧ください。

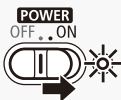
* 最新の説明書については、キャノンのホームページをご確認ください。



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

2 RC-V100を本機につなぐ

- RC-V100本体背面の端子切り換えスイッチがケーブルを接続した端子側に切り換わっているか確認する。



3 POWER(電源)スイッチをONにする

- RC-V100をREMOTE B 端子に接続しているときは操作4に進む。

4 RC-V100を有効にする

- ① Other Functionsメニュー ▶ 「REMOTE B Term.」▶ 「RC-V100」を順に選ぶ ▶ SETを押す。

Other Functions

```
< Reset >
Time Zone UTC+01:00
Set Clock >
REMOTE B Term. RC-V100
Assignable Buttons >
Power LED On
Fan Speed Automatic
```


MEMO

本機で動作しないボタン／ダイヤル

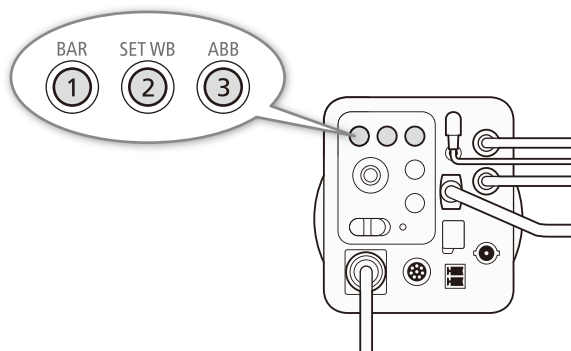
- ONSCREENボタン ■ SHUTTER SELECTボタン ■ AUTO KNEEボタン ■ AUTO IRISボタン
 - (レックレビュー)ボタン ■ AGCボタン ■ AFボタン
- ZOOMダイヤルは、EFシネマレンズ (□ 99)を装着している場合のみ使用できます。RC-V100でズームを調整するときは、レンズのズームサーボ／マニュアル切替えノブをSERVOにしてください。
 - RC-V100を8ピン リモートケーブル (別売) で接続する場合は、RC-V100のシリアル番号を確認してください。シリアル番号が01 xxxxのときは、RC-V100のファームウェアの更新が必要です。ファームウェアの更新をご希望のお客様は、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ窓口にご相談ください。

4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する ...	68
カスタムピクチャーを使用する	70
表示をカスタマイズする	76

アサインボタンの機能を変更する

本体に3つのアサインボタンがあります。使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズできます。リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、4つまで機能を割り当てられます。



初期設定でそれぞれのボタン名の機能(1: BAR, 2: SET WB, 3: ABB, 4*: Infrared)が割り当てられています。アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。

* ボタン名の表示なし。RC-V100を接続時のみ使用可能。




機能名	機能概要	📖
(NONE)	割り当てなし。	—
One-Shot AF*	ワンショットAFを実行する。	57
Push Auto Iris*	プッシュオートアイリスを実行する。	44
ABB	オートブラックバランスのメニューを表示する。	27
AE Shift +	露出を明るくする。	46
AE Shift -	露出を暗くする。	
Color Bars	カラーバーを表示する。	85
Aspect Marker	アスペクトマーカ―を表示する。	61
Set WB*	ホワイトバランスセットを登録する。ホワイトバランスのプリセット設定、または色温度設定を調整する。	53
Tele-converter	デジタルズームを使用する。拡大率は2倍と3倍、4倍	84
Infrared	赤外線撮影を設定する。	63
External Rec*	外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求する。	78
Custom Picture	「Custom Picture」メニューを開く。	70
Camera Mode	カメラモードを切り換える。	41

* アサインボタンだけの機能

機能を変更する

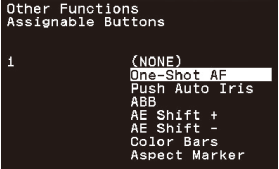
例：アサイン1ボタンに「One-Shot AF」を割り当てる場合

MENU

1 機能を割り当てる

- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Assignable Buttons」 ▶ 「1 Color Bars*」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
* 割り当てている機能によって表示が変わります。
- ② 「One-Shot AF」を選ぶ ▶ SETを押す。



アサインボタンに割り当てた機能を使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、撮影画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押し項目を選び、SETを押します。

カスタムピクチャーを使用する

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整する設定ができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイル（CP1～CP4）として本機に登録し、必要に応じて呼び出せます。

カスタムピクチャーファイルはCP1～CP4、EOS Std.、Wide DR、Canon Log、Blue Screen、Green Screenから選べます。

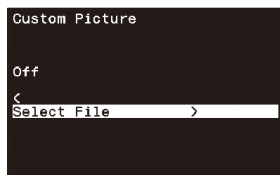
CP1～CP4： 設定値を調整して登録できます

EOS Std.、Wide DR、Canon Log、Blue Scr、Green Scr： プリセット（設定値は調整できません）

機能分類	機能	設定項目	📖
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	73
	ブラック	Black	73
	ブラックガンマ	Black Gamma	73
	ニー	Knee	74
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネス	Sharpness	74
	ノイズリダクション	Noise Reduction	74
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	カラーマトリックス	Color Matrix	74
	カラーゲイン	Color Matrix – Gain	74
	色相	Color Matrix – Phase	74
	ホワイトバランス	White Balance	75
	カラーコレクション	Color Correction	75

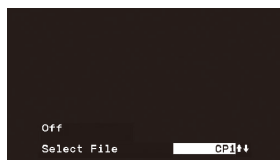
■ カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質の調整値になります。



1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

- ① Custom Pictureメニュー ▶ 「Select File」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - カスタムピクチャーファイルが選択可能になる。
- ② 設定したいカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 設定値が登録済みのおときは、登録されている設定値に調整される。



MEMO

- アサインボタンに「Custom Picture」を割り当てることもできます (P69)。

プリセットされたカスタムピクチャーについて

あらかじめ次のプリセットが用意されています。

プリセット名	ガンマ	特長
EOS Std.	EOS Std.	デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択した場合の画質を再現する設定。鮮やかでくっきりした画質になる。
Wide DR	Wide DR	ポストプロダクション処理なしで使用でき、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせたカラーマトリックスを適用する設定。
Canon Log	Canon Log	ガンマとカラーマトリックスをCanon Logにすることにより、ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクション処理に適した色調の映像を記録する。
Blue Scr	Normal 1	LEDライトと反射指向性の高いマットのクロマキーシステムを使用してクロマキー用（ブルーバック）の撮影をするときに適した設定。青色の布を使用してクロマキー用の撮影を行うときにも使用できる。
Green Scr	Normal 1	LEDライトと反射指向性の高いマットのクロマキーシステムを使用してクロマキー用（グリーンバック）の撮影をするときに適した設定。緑色の布を使用してクロマキー用の撮影を行うときにも使用できる。

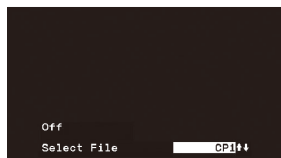
MEMO

リモートコントローラー RC-V100(別売)を使うとき

- RC-V100のCUSTOM PICT.(カスタムピクチャー)ボタンを押すと、「Custom Picture」メニューを表示できます。
- RC-V100を使って画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されません。
- プリセットのカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません。

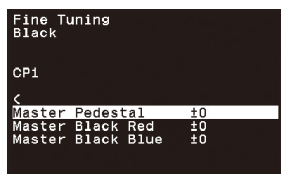
■ 画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておく、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に呼び出せます。



1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ (☞ 70)

CP1 ~ CP4のいずれかを選ぶ。



2 画質調整をする

参考 ▶ 設定項目の詳細は (☞73, 74)をご覧ください。

例：Master Pedestal(マスターペDESTAL)を調整する場合

- ① Custom Pictureメニュー ▶ 「Fine Tuning」 ▶ 「Black」 ▶ 「Master Pedestal」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② ジョイスティックを上下に押して、設定値を選ぶ ▶ SETを押す。



設定を初期設定に戻すとき

- ① Custom Pictureメニュー ▶ 「Fine Tuning」 ▶ 「Reset」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② ジョイスティックを上下に押して、いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 初期設定は「Neutral」、「EOS Std.」、「Wide DR」、「Canon Log」、「Blue Scr」、「Green Scr」または「Linear」の7種類から選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。



■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーではさまざまな項目を調整できます。初期設定は太字で記載しています。

設定項目 / 内容・設定値

Gamma

ガンマカーブを選ぶ。

Normal 1 : TVモニターで見るとき。

Normal 2 : TVモニターで見るとき。Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。

Normal 3 : TVモニターで見るとき。Normal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。

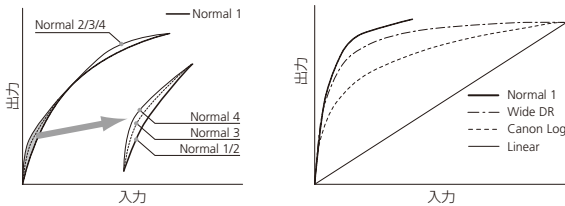
Normal 4 : TVモニターで見るとき。Normal 3に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。

EOS Std. : デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択したときの画質。Normal 1に比べてコントラストが高い。

Wide DR : Normal 1に対して広いダイナミックレンジ。ポストプロダクション処理なしで、TVモニターで見るとき。

Canon Log : 撮像素子の特性を最大限に引き出し、広いダイナミックレンジ。ポストプロダクション処理が前提。

Linear : ガンマを適用せず、輝度の入出力特性を線形にする。研究用途等において、輝度の入出力特性のデータ処理を行うときに使用。



Black

黒のレベル調整や色かぶりの補正を設定する。

Master Pedestal : 黒のレベルを調整する。レベルをプラスにすると黒が浮き、マイナスにすると黒が沈む。

設定値 : $-50 \sim \pm 0 \sim +50$

Master Black Red, Master Black Blue : 黒の色かぶりをRB個別に補正する。 設定値 : $-50 \sim \pm 0 \sim +50$

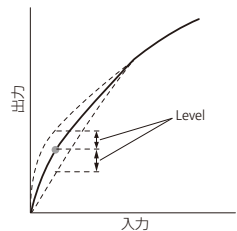
Black Gamma

低輝度部のガンマを補正する。値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。

「Gamma」に「Wide DR」、「Canon Log」または「Linear」を選択したときは、無効。

基準ガンマからの高さ (Level) を調整する。

設定値 : $-50 \sim \pm 0 \sim +50$



設定項目 / 内容・設定値

Knee

高輝度部分を圧縮して、とびの発生を抑える。
「Gamma」に「EOS Std.」、「Wide DR」、「Canon Log」
または「Linear」を選択したときは、無効。

Activate：二ーを使う、使わないか選ぶ。

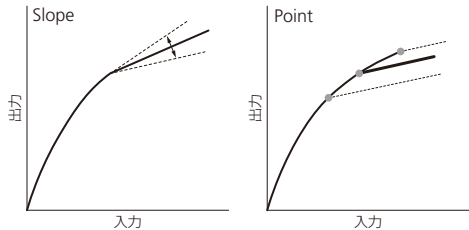
設定値： **On**、Off

Slope： 二ーの傾き。

設定値： $-35 \sim \pm 0 \sim +50$

Point： 二ーポイント。

設定値： $50 \sim \mathbf{95} \sim 109$



Sharpness

輪郭強調のレベルを調整する。 設定値： $-10 \sim \pm 0 \sim +50$

Noise Reduction

ノイズを低減するノイズフィルターを選ぶ。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。

設定値： **Off**、1～12

Chroma Key Corr.

クロマキー用の撮影をするときに、特定の色（青または緑系統）を調整する。「Gamma」に「Linear」を選択したとき、および「Color Correction」の「Select Area」が「Off」以外の場合は、無効。

Color： 青または緑系統の色相を選択する。 設定値： **Off**、Blue、Green

Hue： 色相を調整する。 設定値： **0**～31

Chroma： 色の彩度を調整する。 設定値： **0**～31

Area： 色相の幅を調整する。 設定値： **0**～2

Y Level： 色の輝度レベルを調整する。 設定値： $-15 \sim \mathbf{0}$

Color Matrix

映像の色調を調整する。

Gain： 色の濃さを調整する。 設定値： $\pm 50 (\pm 0)$

Phase： 色相を調整する。 設定値： $\pm 18 (\pm 0)$

R-G： シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。 設定値： $\pm 50 (\pm 0)$

R-B： シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。 設定値： $\pm 50 (\pm 0)$

G-R： マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。 設定値： $\pm 50 (\pm 0)$

G-B： マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。 設定値： $\pm 50 (\pm 0)$

B-R： イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。 設定値： $\pm 50 (\pm 0)$

B-G： イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。 設定値： $\pm 50 (\pm 0)$

White Balance

ホワイトバランスのシフト量を調整する。

R Gain : 赤色の濃淡を調整する。 設定値 : $-50 \sim \pm 0 \sim +50$

B Gain : 青色の濃淡を調整する。 設定値 : $-50 \sim \pm 0 \sim +50$

Color Correction

特定の範囲の色調を補正する。「Chroma Key Corr.」の「Color」が「Off」以外の場合は無効。

Select Area : 補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定できる。補正は、「Area A」(Aエリアのみ)、「Area B」(Bエリアのみ)、「Area A&B」(Aエリア／Bエリア両方)を選択できる。

設定値 : **Off**, Area A, Area B, Area A&B

Area A Setting : 補正する色の範囲(Aエリア)を設定する。Phase(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ設定する。

Phase : 設定値 : **0** ~ 31

Chroma : 設定値 : **0** ~ 31(**16**)

Area : 設定値 : **0** ~ 31(**16**)

Y Level : 設定値 : **0** ~ 31(**16**)

Area A Revision : Aエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。

Level : 設定値 : ± 50 (**± 0**)

Phase : 設定値 : ± 18 (**± 0**)

Area B Setting : 補正する色の範囲(Bエリア)を設定する。Phase(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ設定する。

Phase : 設定値 : **0** ~ 31

Chroma : 設定値 : **0** ~ 31(**16**)

Area : 設定値 : **0** ~ 31(**16**)

Y Level : 設定値 : **0** ~ 31(**16**)

Area B Revision : Bエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。

Level : 設定値 : ± 50 (**± 0**)

Phase : 設定値 : ± 18 (**± 0**)

MEMO

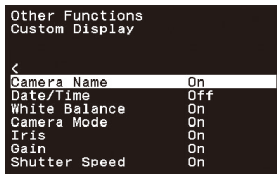
- リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続したとき、次の項目はRC-V100のダイヤルで調整できます(本機からは調整できません)。
 - Master Pedestal
 - Master Black Red
 - Master Black Blue
 - Black Gamma
 - Knee-Slope
 - Knee-Point
 - Sharpness
 - White Balance R Gain
 - White Balance B Gain

表示をカスタマイズする

撮影画面の表示項目をカスタマイズして、撮影環境や目的に合わせて、より使いやすいように設定できます。

■ カスタムディスプレイで設定できる項目

撮影画面に表示する項目を選べます。表示項目の詳細はメニュー一覧の「Custom Display」(□89)をご覧ください。



- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Custom Display」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 設定値を選ぶ ▶ SETを押す。



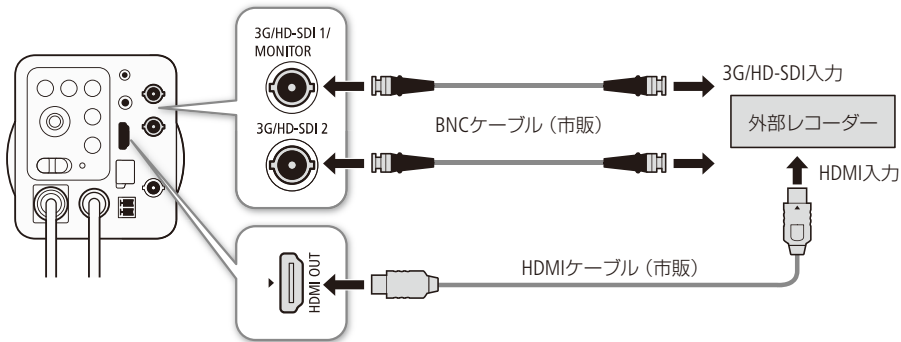
5 接続

外部レコーダーと接続する	78
外部機器と同期させる	79
音声を入力・出力する	80

外部レコーダーと接続する

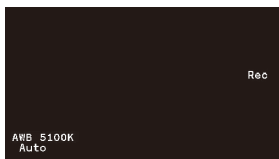
本機の3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、3G/HD-SDI 2端子、またはHDMI OUT端子を使って、外部レコーダー*と接続できます。外部モニターとの接続は、「外部モニターと接続する」(□21)をご覧ください。

* 対応外部レコーダーについては、お問い合わせ窓口にお問い合わせください。



外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求する

本機と外部レコーダーを3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、3G/HD-SDI 2端子、またはHDMI OUT端子を使って接続したとき、「External Rec」を割り当てたアサインボタンやリモートコントローラー RC-V100(別売)の「START/STOP」ボタンで、外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求できます。



- ① アサインボタンに「External Rec」を割り当てる (□69)。
- ② 「External Rec」を割り当てたアサインボタン、またはRC-V100の「START/STOP」ボタンを押す。
 - 撮影画面に「Rec」が表示される。
- ③ もう一度「External Rec」を割り当てたアサインボタン、またはRC-V100の「START/STOP」ボタンを押す。
 - 撮影画面の「Rec」が消える。

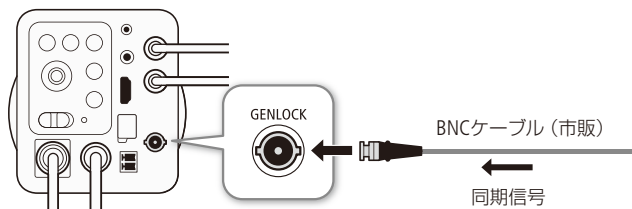
MEMO

- 外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求できないときは、Audio/Video Setupメニュー ▶ 「Rec Command」 ▶ 「Activate」が「On」になっているか確認してください(□86)。
- Audio/Video Setupメニュー ▶ 「Rec Command」 ▶ 「Remove OSD」を「On」にすると、外部レコーダーへ記録の開始を要求したときに、連動して撮影画面の画面表示を非表示にできます(□86)。
- 外部レコーダーへ記録の要求をしているときは、以下のメニュー設定を変更できません。

■ ABB	■ Reset	■ Assignable Buttons	■ Resolution
■ 3G-SDI Mapping	■ Time Zone	■ System Frequency	■ Genlock Adjustment
■ Rec Command	■ Date/Time	■ Frame Rate (MON.)	■ Camera Name

外部機器と同期させる

GENLOCK (ゲンロック) によって、外部機器と本機の映像信号を同期させることができます。同期信号 (HD三値信号、またはアナログ・ブラックバースト信号) をGENLOCK端子に入力すると、同期信号を基準として、自動的に内部のV同期/H同期の位相を合わせます。なお、位相差0を中心として、約 $\pm 0.4H$ の範囲でH位相を調整できます。



H位相を調整する



- ① Other Functionsメニュー ▶ 「Genlock Adjustment」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、変更する桁にカーソルを合わせる。
 - H位相は、 -1023 から 1023 の範囲で決める。
(例： 1023 のとき 10 2 3)
- ③ ジョイスティックを上下に押して数字を選ぶ ▶ カーソルを一番右の「Set」に合わせてSETを押す。

MEMO

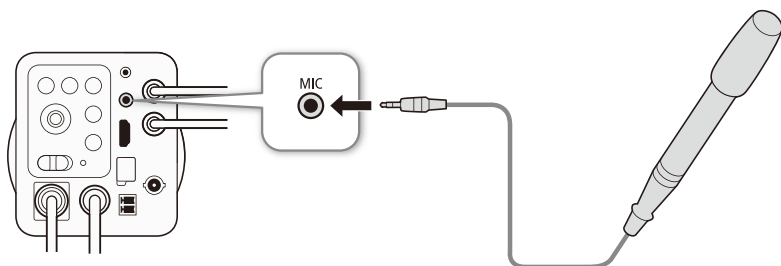
- 同期信号が入力されると約10秒以内に同期が安定します。
- 入力されたGENLOCK信号を検知すると、撮影画面に「Gen.」が点滅して表示されます。入力信号と本機が同期すると、「Gen.」が点灯に変わります。
- 不正な同期信号が入力されると、同期が安定しないことがあります。

音声を入力・出力する

本機はMIC（マイク）端子にφ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクを接続できます。本機に入力した音声信号は、3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、3G/HD-SDI 2端子、またはHDMI OUT端子から出力されます。

■ 音声を入力する

外部マイクを本機に接続してください。給電が必要な外部マイク（プラグインパワーマイク）のときは、メニューから給電の設定を行ってください。



外部マイクに給電する（プラグインパワー）

Audio/Video Setup

MIC Power

On
Off

「MIC Power」を選ぶ

- ① Audio/Video Setupメニュー ▶ 「MIC Power」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「On」を選ぶ ▶ SETを押す。

ご注意

- プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続して「MIC Power」を「On」にすると、外部マイクが故障する可能性があります。

■ 音声を出力する

本機の3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、3G/HD-SDI 2端子、またはHDMI OUT端子は、映像信号と同時に音声信号を出力します。出力される音声信号は2チャンネルのリニアPCM方式（サンプリング周波数48kHz、量子化ビット数16ビット）です。出力した音声信号は外部レコーダーで記録できます。

メニュー

メニュー一覧.....	82
-------------	----

メニュー一覧

本機の機能をメニューで設定します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(P24)をご覧ください。

■ メニューの階層

Menu

CLOSE

Camera Setup (P 83)

- Light Metering
- AE Shift
- AE Response
- AGC Limit
- Auto Slow Shutter
- Flicker Reduction
- Shockless WB
- Iris Increment
- Zoom-Iris Correct.
- Focus Limit
- Focus Control
- Tele-converter
- EF-S Lens
- ABB
- Color Bars
- Infrared
- ND Mode
- Periph.Illum.Corr.

Custom Picture (P 86)

- Select File
- Fine Tuning

Audio/Video Setup (P 86)

- MIC Power
- 1kHz Tone
- 3G-SDI Mapping
- Rec Command

Other Functions (P 87)

- Reset
- Time Zone
- Set Clock
- REMOTE B Term.
- Assignable Buttons
- Power LED
- Fan Speed
- System Frequency
- Frame Rate (MON.)
- Resolution
- Genlock Adjustment
- Scan Reverse
- Aspect Marker
- Custom Display
- Camera Name
- Reset Hour Meter
- Initialize Media
- Firmware

■ メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されないことや、灰色で表示されて使用できないことがあります。

Camera Setupメニュー

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Light Metering	Backlight、 Standard 、Spotlight アイリスを自動調整するときの測光方式を設定する（□46）。 Backlight：逆光時の暗部をより明るく制御する。 Standard：画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 Spotlight：スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。
AE Shift (Automatic Exposure Shift)	+2.0、+1.75、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、 ±0 、-0.25、-0.5、-0.75、-1.0、-1.25、-1.5、-1.75、-2.0 自動露出（カメラモードが「Manual」以外のとき）や、プッシュオートアイリスを使用時（カメラモードが「Manual」のとき）に、明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う（□46）。
AE Response (Automatic Exposure Response)	High、 Normal 、Low 自動露出の応答性を選ぶ（カメラモードが「Manual」以外のとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時）。
AGC Limit (Automatic Gain Control Limit)	Off (75dB) ~ 36dB (3dB刻み) ゲインの上限値を設定し、ゲインが上がることによるノイズを防ぐ（□48）。
Auto Slow Shutter	On 、Off カメラモードが「Auto」または「Av」のときのシャッタースピードの動作を設定する。 「Off」にすると、カメラモードが「Auto」のときのシャッタースピードが、現在設定しているフレームレートより下がらない。
Flicker Reduction	Automatic、 Off 人工光源のフリッカー低減を設定する。「Automatic」にすると、自動でフリッカーを検知して補正する。
Shockless WB (Shockless White Balance)	On、 Off 「On」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Iris Increment	1/2 stop、1/3 stop、Fine アイリスを調整するときのF値の刻み幅を設定する。「Fine」にすると、「1/3 stop」より細かい刻み幅で設定できる。
Zoom-Iris Correct. (Zoom-Iris Correction)	On、Off ズーム操作によりF値が変化するレンズ*を装着時、「On」にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにもない、若干の輝度のぼらつきと動作音が発生する。「Off」にすると、望遠側にズームするに従って、徐々にF値が大きくなる（暗くなる）。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。 *一部のEFレンズやEFシネマレンズを除く。
Focus Limit	
Activate	On、Off 設定したフォーカスの制限位置の有効・無効を設定する（  59）。 「On」にすると、フォーカスの制限位置が有効になる。
Far	Set、Reset、Cancel 装着したレンズの無限遠側のフォーカス制限位置を設定する（  59）。 フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。 Set：フォーカス制限位置を設定する。 Reset：設定したフォーカス制限位置を初期化する。 Cancel：設定操作をキャンセルする。
Near	Set、Reset、Cancel 装着したレンズの至近側のフォーカス制限位置を設定する（  60）。 フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。 Set：フォーカス制限位置を設定する。 Reset：設定したフォーカス制限位置を初期化する。 Cancel：設定操作をキャンセルする。
Focus Control	Camera、Lens フォーカスを調整するときの信号経路を設定する。「Lens」にすると、レンズのアクセサリーを使ってフォーカスを調整できる。このとき、本機のオートフォーカス機能やリモートコントローラー RC-V100(別売)のフォーカス調整はできない。
Tele-converter	4×、3×、2×、Off デジタルズームを設定する。拡大率は4倍と3倍、2倍が選べる。映像をデジタル処理するため、画質は劣化する。

設定項目	上段：設定値／下段：内容						
EF-S Lens	<p>On、Off</p> <p>EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着すると、周辺光量の低下が大きくなったり、ケラレが発生したりすることがある。EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着してケラレが発生したときに、センサーの切り出し範囲を変更する。「On」にすると、電子的に約1.55倍に拡大するため、画像が劣化する。</p>						
ABB (Automatic Black Balance)	<p>Cancel、OK</p> <p>ブラックバランスを自動調整する (□□27)。</p>						
Color Bars							
Activate	<p>On、Off</p> <p>カラーバー表示・非表示を設定する。「On」にすると、カラーバーが表示される。</p>						
Type	<table border="1"> <thead> <tr> <th>システム周波数</th> <th>カラーバー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59.94Hz</td> <td>SMPTE、ARIB</td> </tr> <tr> <td>50.00Hz</td> <td>EBU、SMPTE</td> </tr> </tbody> </table> <p>カラーバーのタイプを設定する。システム周波数によって設定できるタイプが変わる。</p>	システム周波数	カラーバー	59.94Hz	SMPTE、ARIB	50.00Hz	EBU、SMPTE
システム周波数	カラーバー						
59.94Hz	SMPTE、ARIB						
50.00Hz	EBU、SMPTE						
Infrared	<p>On、Off</p> <p>赤外撮影を有効にする (□□63)。</p>						
ND Mode	<p>Automatic、Manual</p> <p>NDフィルターの操作方法を選ぶ。「Manual」にすると、カメラモードが「Manual」以外のおきでも、NDフィルターの手動設定が可能になる。</p>						
Periph.Illum.Corr. (Peripheral Illumination Correction)	<p>On、Off</p> <p>周辺光量補正を設定する。「On」にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。撮影条件によっては、映像の周辺部にノイズが発生することがある。距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなる。ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなる。EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着して「Periph.Illum.Corr.」を「On」にするときは、Camera Setupメニュー ▶ 「EF-S Lens」を「On」にする。</p> <p>「Periph.Illum.Corr.」が灰色に表示されて選べないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取り付けているレンズの補正データが本機にない。 						

Custom Pictureメニュー

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Select File	Off , CP1 ~ CP4, EOS Std., Wide DR, Canon Log, Blue Scr, Green Scr カスタムピクチャーファイルを選ぶ (□70)。
Fine Tuning	カスタムピクチャーの調整を行う (□73)。

Audio/Video Setupメニュー

設定項目	上段：設定値／下段：内容
MIC Power	On, Off 外部マイクへの給電を選ぶ。「On」にすると、プラグインパワー給電を行う (□80)。プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続して「On」にすると、外部マイクが破損する恐れがある。
1kHz Tone	−12dB, −18dB, −20dB, Off カラーバーを表示したときのテストトーンを設定する。
3G-SDI Mapping	Level A, Level B 3G/HD-SDI 1/MONITOR端子、または3G/HD-SDI 2端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1規格のLevel A、またはLevel Bに準拠した信号が出力される。
Rec Command	
Activate	On, Off External Recを割り当てたアサインボタンやリモートコントローラー RC-V100 (別売)から外部レコーダーへ記録の開始と停止が要求できるように設定する (□78)。
Remove OSD	On, Off 「On」にすると、外部レコーダーへ記録の開始を要求したときに、連動して撮影画面の画面表示を非表示にする。

Other Functionsメニュー

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Reset	
All Settings	Cancel , OK 本機の設定を初期状態に戻す。(Other Functionsメニュー ▶ 「Reset Hour Meter」に表示されるアワーメーターは除く)
Camera Settings	Cancel , OK ホワイトバランス、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、カスタムピクチャー、フォーカスリミットなどの各設定を初期状態に戻す。
Time Zone	UTC-12:00 ~ UTC-5:00 (New York) ~ +14:00 タイムゾーンを設定する (□□23)。
Set Clock	
Date/Time	— 日付と時刻を設定する (□□23)。
Date Format	YMD, YMD/24H, MDY , MDY/24H, DMY, DMY/24H 日時の表示形式を選ぶ (□□23)。
REMOTE B Term.	RC-V100 , NU Protocol リモートコントローラー RC-V100(別売)をREMOTE B 端子に接続して使用するときは「RC-V100」を選ぶ。 NU Protocolは周辺機器との接続を可能にするキャノン独自の通信プロトコルです。
Assignable Buttons	
1	(NONE), One-Shot AF, Push Auto Iris, ABB (3) , AE Shift +, AE Shift -, Color
2	Bars (1) , Aspect Marker, Set WB (2) , Tele-converter, Infrared (4 (Remote)) ,
3	External Rec, Custom Picture, Camera Mode
4 (Remote)	()内の数字はアサインボタン アサイン1 ~ 4*ボタンに機能を割り当てる。13種類の機能を割り当てられる (□□68, 69)。 * アサイン4ボタンは、リモートコントローラーRC-V100(別売)を接続時のみ使用可能。
Power LED	On , Off 電源ランプの点灯、消灯を設定する。「On」にすると、点灯する。

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Fan Speed	<p>Automatic、High、Middle、Low</p> <p>冷却ファンの動作方法を選ぶ。</p> <p>Automatic：本機の内部温度によって、自動的に回転速度を変更する。</p> <p>High：常に高速で回転する。</p> <p>Middle：常に中速で回転する。</p> <p>Low：常に低速で回転する。</p>
System Frequency	<p>59.94Hz、50.00Hz</p> <p>システム周波数を設定する (□□40)。</p>
Frame Rate (MON.)	<p>システム周波数が「59.94Hz」のとき：59.94P、59.94P(i)*、59.94i*、29.97P、23.98P</p> <p>システム周波数が「50.00Hz」のとき：50.00P、50.00P(i)*、50.00i*、25.00P、25.00PsF*</p> <p>フレームレートを設定する (□□40)。システム周波数や解像度によって、選べる設定値が変わる。3G-SDIで接続するときは、59.94Pが50.00Pにする。</p> <p>* 解像度が1920×1080のときのみ。</p>
Resolution	<p>1920×1080、1280×720</p> <p>解像度を設定する (□□40)。</p>
Genlock Adjustment	<p>−1023 ~ 000 ~ 1023</p> <p>同期信号のH位相を調整する (□□79)。</p>
Scan Reverse	<p>Both、Vertical、Horizontal、Off</p> <p>映像を垂直(上下)、水平(左右)、両方(上下左右)のいずれかに反転させる。</p>
Aspect Marker	
Activate	<p>On、Off</p> <p>アスペクトマーカの表示・非表示を設定する。「On」にすると、アスペクトマーカが表示される。</p>
Color	<p>Black、Gray、White</p> <p>アスペクトマーカの色を選ぶ。</p>
Ratio	<p>4:3、4:3 S35mm、1.66:1、1.85:1、2.39:1</p> <p>アスペクトマーカのアスペクト比を選ぶ。</p>

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Custom Display	
Camera Name	On , Off 撮影画面に任意のカメラ名を表示する。
Date/Time	Date/Time、Time、Date、 Off 撮影画面に日付や時刻を表示する。
White Balance	On , Off 撮影画面にホワイトバランスを表示する。
Custom Display	
Camera Mode	On , Off 撮影画面にカメラモードを表示する。
Iris	On , Off 撮影画面にアイリスを表示する。
Gain	On , Off 撮影画面にゲインを表示する。
Shutter Speed	On , Off 撮影画面にシャッタースピードを表示する。
ND Filter/ Infrared	On , Off 撮影画面に光学フィルターの状態を表示する。
Custom Picture	On , Off 撮影画面にカスタムピクチャーのファイル名やプリセット名を表示する。
Lens Error	On , Off 撮影画面にレンズエラーを表示する。
Temperature Warning	On , Off 撮影画面に温度警告を表示する。
Camera Name	A～Z、a～z、0～9、!、#、\$、%、&、(、)、+、-、.、:、@、[、]、^、_、`、{、}、~、(スペース) 任意のカメラ名を入力する（最大16文字）。 ジョイスティックを上下に押して文字を選び、ジョイスティックを左右に押すかジョイスティックをまっすぐ押すとカーソルが移動する。MENUボタンでカーソル部分の文字を削除できる。

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Reset Hour Meter	Cancel 、OK 前回リセットをしたときからの使用時間をリセットする。
Initialize Media	(ファームウェア更新用) ファームウェアの更新に必要なメモリーカード (microSDメモリーカード)の初期化を行う。
Firmware	0.0.0.0.00 ファームウェアのバージョン。



その他

トラブルシューティング	92
警告表示とエラーメッセージ	93
取り扱い上のご注意	94
アクセサリ紹介	96
主な仕様	97
索引	101
保証書と修理対応	104

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にご相談ください。

こんなときは	どうするの？	📖
システム周波数またはフレームレートを設定したときに、外部モニターに何も表示されない。	<p>システム周波数またはフレームレートが正しく設定されていない。</p> <p>フレームレートとシステム周波数の変更のしかたは、次の通りです。（リモートコントローラー RC-V100（別売）の場合は、REMOTE B端子に接続時）</p> <ul style="list-style-type: none">● 「59.94i」または「50.00i」以外のフレームレートを設定して、画面が映らなくなった場合 アサイン 1 ボタンと 3 ボタンを同時に長押しして、電源ランプが消灯したら*、ボタンを離す。本機が再起動し、現在設定されているシステム周波数のフレームレートの初期設定（「59.94i」または「50.00i」）に戻る。● システム周波数を変更して、画面が映らなくなった場合 アサイン 1 ボタンと 3 ボタンを同時に長押しして、電源ランプが消灯したら*、ボタンを離す。本機が再起動し、システム周波数の設定が切り替わる（「59.94i」または「50.00i」で出力する）。 <p>* Other Functionsメニュー ▶ 「Power LED」の設定が「Off」のときは、アサイン 1 ボタンと 3 ボタンを同時に長押しすると、電源ランプが点灯する。電源ランプが消灯したら、ボタンを離す。</p>	11 40
リモートコントローラー RC-V100（別売）が動作しない。	Other Functionsメニュー ▶ 「REMOTE B Term.」を「RC-V100」に設定する。	64

警告表示とエラーメッセージ

撮影画面に警告表示やエラーメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。
それでも解決しないときは、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にご相談ください。

警告名/エラー名	メッセージ/画面表示	原因と対処
温度警告 (赤文字)		本機内部の温度が高くなっている。 ● 冷却ファンの動作方法を「Automatic」か「High」にする。しばらく経っても温度警告表示が消えないときは、本機の電源を切り、温度が低くなるまで使用を中止する。
冷却ファン警告 (赤文字)		冷却ファンが故障した可能性がある。 お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にご相談ください。
レンズ通信エラー (赤文字)		レンズと正常に通信ができない。 本機の電源を入れ直す、またはレンズ接点を清掃する*。 * 電源をOFFにしてレンズを取り外し後。
ABBエラー		オートブラックバランス (ABB) が正しく動作しなかった可能性がある。 ボディキャップ、またはEFシネマレンズ (□ 99) をしっかりと取り付けて、光を遮断してから、もう一度ABBを実行する。

取り扱い上のご注意

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズを外して、必ずボディキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにお買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

内蔵の冷却ファンについて

Other Functionsメニュー ▶ 「Reset Hour Meter」のTotal時間を確認し、約30,000時間を目安に交換してください。交換については、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にお問い合わせください。

強い光源にレンズを向けない

カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときや持ち運ぶときは、本体に直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。

カメラのレンズ接点に手で触れない

接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとカメラが正しく動作しなくなることがあります。

レンズを取り外したときは・・・

接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となり、カメラやレンズが正確に動作しないことがあります。



■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは本機の電源を切ってから市販の電源を取り付けて内蔵電池を充電してください（所要時間：24時間）。

■ その他のご注意

結露について

本機が結露した場合、そのままの状態ですると故障の原因になりますので注意してください。次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときはレンズを取り外し、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

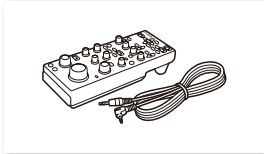
製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

アクセサリ紹介

本機は、キャノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。



リモートコントローラー
RC-V100



8ピン リモートケーブル
RR-10、RR-100



三脚ベース
TB-1



このマークは、キャノンのビデオ関連商品の純正マークです。

主な仕様

システム	
撮像素子	35mmフルサイズ単板CMOSセンサー（有効画素数：約226万画素）
最低被写体照度	0.0005ルクス以下* (ISO感度換算：400万相当) * カラー、蓄積なし、F1.2、シャッタースピード1/30秒時、50IRE、最大ゲイン75 dB時
レンズマウント	キヤノンEFマウント（シネマロックタイプ）
システム周波数	59.94 Hz、50.00 Hz
フレームレート	59.94P、(59.94i)、50.00P、(50.00i)、29.97P、25.00P、(25.00PsF)、23.98P ()は1920×1080のみ
露出	AEシフト、測光方式（スタンダード、スポットライト、バックライト）
ホワイトバランス	オート、セットA (WB-A)、セットB (WB-B)、プリセット設定（太陽光 約5500 K、電球 約3000 K）*、色温度設定（2000 K～15000 K） * 色温度は目安です。
アイリス	マニュアル（1/2 stop、1/3 stop、Fine）、プッシュオートアイリス、オート（ゲイン、シャッター、NDフィルターと連動）
ゲイン	0.0 dB～75.0 dB（3 dB刻み）
シャッタースピード	1/3～1/2000（システム周波数およびフレームレートによる）
光学フィルター	NDフィルター：2濃度（1/8、1/64）（電動マニュアル／オート） Infraredカットフィルター：電動マニュアル
フォーカス	マニュアル、ワンショットAF
周辺光量補正	キヤノンEFレンズ群で可能（一部のEFレンズを除く）
ガンマ	Normal 4種類、EOS Std.、Wide DR、Canon Log、Linear

入・出力端子

3G/HD-SDI 1/MONITOR端子 3G/HD-SDI 2端子	BNCジャック (出力のみ)、0.8 Vp-p / 75 Ω、不平衡、画面表示対応* 3G-SDI(SMPTE 424、425、ST 299-2準拠) HD-SDI(SMPTE 292、ST 299-1準拠) * 3G/HD-SDI 1 MONITOR端子のみ。
HDMI OUT端子	タイプA(出力のみ)、画面表示対応 1080P / 1080i / 720P / 576P*、480P* * これら解像度だけに対応する外部モニター接続時のみ。
MIC(マイク)端子	φ3.5mmステレオミニジャック (プラグインパワーマイク対応) 供給電圧 DC 2.8V(バイアス抵抗 2.2 kΩ)
GENLOCK端子	BNCジャック (入力のみ)、1.0 Vp-p / 75 Ω
REMOTE A端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
REMOTE B端子	丸型8ピンジャック (RS-422用)
LENS(レンズ)端子	丸型12ピンジャック

電源その他

電源電圧	入力範囲 DC 11 ~ 17V
消費電力	約12W(本体のみ)
動作温度	0°C ~ +40°C
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約102 × 116 × 113mm(突起部含まず)
本体質量	1.1 kg(本体のみ)

■ 対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細についてはお買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にお問い合わせください。動作確認済みのレンズについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

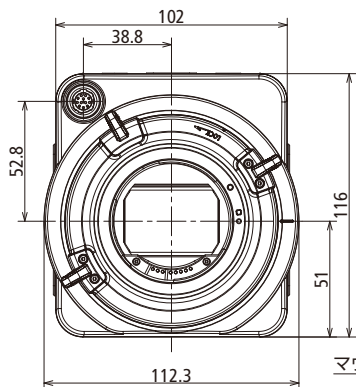
レンズ		12ピン接続	カメラからのアイリス調整	
		要否	マニュアル	プッシュオート
EFレンズ			●	●
EF シネマ レンズ	CN7x17 KAS S/E1	要*	●	●
	CN20x50 IAS H/E1	要*	●	●
	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S		●	●

* レンズのドライブユニットに電源供給されていれば、本機との接続は不要。

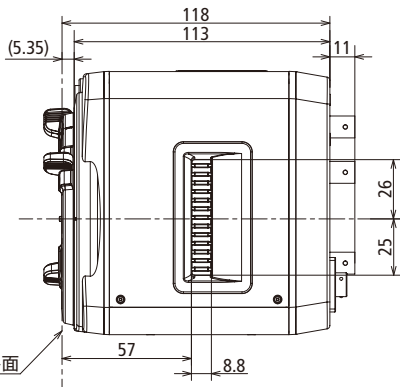
レンズ		カメラからのフォーカス調整	
		マニュアル*	ワンショットAF
EFレンズ		●	●
EF シネマ レンズ	CN7x17 KAS S/E1	●	●
	CN20x50 IAS H/E1	●	—
	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●

* リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続時。

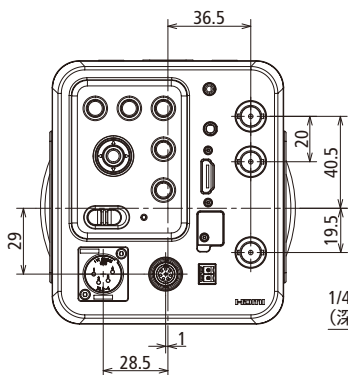
正面



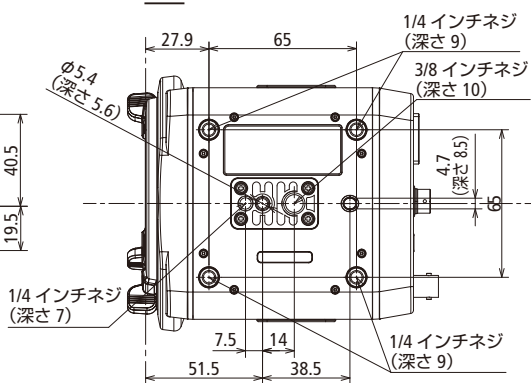
左面



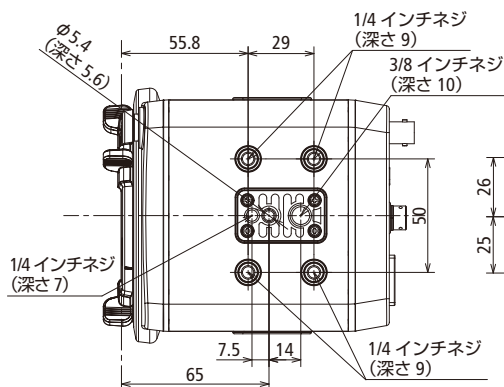
後面



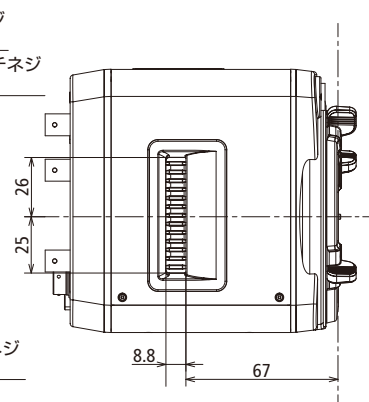
底面



上面



右面



指定のない寸法の単位：mm

索引

ア

アイリス	43
アクセサリ	96
アサインボタン	68、69、87
アスペクトマーカー	61
エラーメッセージ	93
音声を出力する	80
音声を入力する	80

カ

解像度	40
カスタムディスプレイ	76、89
カスタムピクチャー	70、72、73
カメラダイレクト設定	42
カメラモード	6、41
カラーバー	85
記録の開始と停止を要求する	78
クロマキー用撮影・色調整	71、74
警告表示	93
ゲイン	47、48
結露	95

サ

撮影画面	24、38
：画面表示	38
：画面表示を消す／表示する	24、39
撮影する	36
三脚	33
システム周波数	40
シャッタースピード	49
周辺光量補正	85
修理	104
ジョイスティック	24
仕様	97

赤外撮影	63
接続	
：外部機器と同期させる	79
：外部モニターと接続する	21
：外部レコーダーと接続する	78
測光方式	46、83

タ

タイムゾーン	23、87
テストトーン	86
電源	
：DC IN 1端子を使う	17
：DC IN 2端子を使う	18
電源用コネクタ	10、18
電源を入れる／切る	20
トラブルシューティング	92

ナ

日時スタイル	23
--------	----

ハ

日付と時刻	22、87
フォーカス	56、57
フォーカスリミット	59、84
プッシュオートアイリス	44
ブラックバランス	27
フリッカー	50、83
フレームレート	40、88
保証	104
ホワイトバランス	52

マ

マイク	80
メニュー	
: 基本操作	24
: メニュー一覧	82

ラ

リセット	87
リチウム電池	95
リモートコントローラー	64
冷却ファン	88
レンズ	29、99
露出	46、83

ワ

ワンショットAF	57
----------	----

番号




1/4インチネジ	33
3/8インチネジ	33
3G/HD-SDI 1/MONITOR(モニター)端子、	
3G/HD-SDI 2端子	21

その他

ABB	27
AEシフト (AE Shift)	46、68、83
AGC(カメラモード)	41
AGCリミット (AGC Limit)	48、83
Auto Slow Shutter	41、83
Auto(カメラモード)	41
Av(カメラモード)	41
AWB	52
Canon Log	71、73

DC IN 1端子	17
DC IN 2端子	18
EF-S	29、31、85
EFシネマレンズ	27、30、99
EFレンズマウント	29、31
EOS Std.	71、73
External Rec	68、78
GENLOCK(ゲンロック)端子	79
HDMI OUT端子	21
H位相	79、88
Infrared	63、85
LENS(レンズ)端子	12、30
Linear	73
Manual(カメラモード)	41
MIC(マイク)端子	80
NDフィルター	51
NU Protocol	87
POWER(電源)スイッチ	20
Rec Command	78、86
REMOTE A端子、REMOTE B端子	64、87
Reset	87
TB-1	33、96
Tele-converter	68、84
Tv(カメラモード)	41
Wide DR	71、73
XLR 4ピン	17

商標について

-  microSD、 microSDHC、 microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標、または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標、または商標です。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

保証書と修理対応

本機には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。保証期間経過後の修理は有料となります。ここでは製品の保証や修理、修理対応期間について説明しています。

製品の保証について

P.104 ~ 105の「保証内容」(保証規定)をご覧ください。

修理について

- 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 弊社で修理品を拜見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積りになりますので、その旨ご承知おきください。

修理対応期間について

P.105の「修理対応について」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

修理についてはご購入上げ販売店、またはお問い合わせ先(裏表紙)にお問い合わせください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。

保証内容

1. 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口、またはご購入上げ販売店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。
2. 保証期間中でも次の場合は有料修理となります。
 - (1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷
 - (2) 弊社またはご購入上げ販売店以外での修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
 - (3) 泥・砂・水などのかぶり、落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (5) 弊社指定仕様外の接続機器の使用に起因して生じた本製品の損傷・故障および障害
 - (6) 保管上の不備(高温多湿の場所、ナフタリンや樟腦の入った場所での保管、電池の漏液等)や手入れの不備による故障
 - (7) 保証書の提示がない場合
 - (8) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、ご購入上げ販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合
 - (9) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合

- 保証書は、本体のみを保証対象といたします。
〈ご注意〉上記本体は、保証書の型名に記載された製品をいいます。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 設置場所の変更、転居、譲り受け、贈答等の場合でお買い上げ販売店に修理を依頼できない場合には、お問い合わせ先（裏表紙）にお問い合わせください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

ご注意

- 保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社および弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証書の表示について、ご不明の点はお買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にお問い合わせください。

修理対応について

- 修理完成品には修理伝票が発行されますので、修理品をお受け取りの際にご確認ください。
 - 保証期間経過後の修理につきましてはお買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）にお問い合わせください。
 - 修理品をお送りいただく場合は、見本のデータやプリントを添付いただくなど故障内容を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。
 - 本製品の修理対応期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。
 - 修理対応として、弊社の判断により同一機器または同程度の仕様の製品へ交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧機器でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合もございますので、ご了承ください。
- 操作に関するお問い合わせ、および保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げ販売店、またはお問い合わせ先（裏表紙）へお願いいたします。
 - ※ 長時間使用しなかった後や、重要な撮影の前には各部の作動をご自身でチェックしてからご使用ください。また、撮影した映像・画像は必要に応じてバックアップしておいてください。
 - ※ お客様が反社会的勢力（個人、団体を問いません）に該当すると弊社が合理的に判断した場合は、保証書の保証規程にかかわらず、修理その他一切の対応をいたしかねます。

22080401

お問い合わせ窓口

■サポートページ

<https://canon.jp/support>

※お問い合わせ窓口の記載内容は、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「販売店名・購入年月日」等の記入を確かめて、お買い上げ販売店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2022年8月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページをご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6